京城日報
二十五日夕刊
發行所 京城日報社

露國政變

▲憲法議會開期近し

露國新政府にては憲法制定議會を數日前に開會す可し(桑港電報)

▲前帝護送後の形勢

皇后と再會し給ふ=追て國外へ去られん=新政府との關係良好=露都の秩序回復=戰線の軍氣大に昂る

前皇帝は二十二日ツアールスコエ、セロに護送せられ給ひ皇后及び病中の皇女等に再會せられたり黒山の如き人民は片唾を呑みて帝の出發を目送せり斯くて廢帝御夫妻及び其御家族は如く監禁せらるゝ事となれり尤も或時機に至らば國外に去る可し又皇族中にてもニコラス大公御夫妻の政策に反對したるものも此際國外に去る可し斯くて全露國は終局の勝利を收むる迄戰爭を繼續する事明かとなれり而して臨時政府と議員兵士職工等との關係も日毎に良好になりつゝありアレキサンダー、グチコフ氏が陸海軍の組織に民主的改革を施したる爲め露都の秩序は既に恢復せられ戰線にある軍隊も志氣大いに昂り數回の獨軍攻擊を擊退し大損害を蒙らしめたり(露都電報)

▲前皇室英國に移されん

露國前皇帝は近く皇后 皇太子 皇女と共に英國に移さる可し(桑港電報)

▲革命の犧牲者一萬

伯林にては露國革命の犧牲者死者四千負傷者七千に達せりと傳へられつゝあり(桑港電報)

○米國汽船擊沈さる

米國汽船ヘルドロンは敵潛航艇の襲擊を受けて沈沒し乘組員十一名溺死せり(倫敦電報)

○獨海賊船無事歸國

南大西洋にて我ハドソン丸を始め幾多の汽船を擊沈したる獨海賊船メーウエ號は無事本國に歸國せり(紐育電報)

○兇暴獨艦歸航す

伯林公報に曰く、補助巡洋艦メーウエー號は第二回の航海を終りて歸航せり同艦の捕獲又は擊沈したるもの汽船廿二隻帆船五隻十二萬三千百噸に上ると(紐育電報)

○獨艦出沒事實說

最近歐洲航路より寄航せる呂宋丸船長の談に依れば支那海の獨艦出沒は事實なるが如し(東京電報)

○支那紙と抗議

局子街にて發行する支那側機關新聞延邊實報は本月三日來社文欄に過激なる鮮人煽動の排日論說を揭げし爲め我官憲は支那官憲に對し再三嚴重に抗議せる結果遂に左の條件にて謝罪せり(間島特電)

一、支那官憲にて新聞紙取締の疎漏なりしを陳謝す
二、延邊實報發行兼編輯人を新聞紙法條例違反に問ひ二十元の罰金を課す
三、今後發行に先立ち每號必ず原稿を檢閱す

◉總督公州巡視

長谷川總督は各隨員を隨へ上林道長官の陪乘にて[illegible]より自動[illegible]に二十四日午前十一時半著公州守備隊在鄉軍人會員各官公署職員各校生徒學校生徒婦人會員其他內鮮人一般有志等無慮一千餘名の出迎を受け直に道廳に入り長官室に於て道部等官及び各官署の長並に民間有力者に接見を爲し上林道長官の管內狀況報告を聽き食堂に於て午餐を爲し夫より廳內各係を巡視の上記念撮影記念植樹を爲し午後二時より警務部地方法院守備隊種苗場農業學校郡廳面事務所慈惠醫院實業協會監獄の順序にて巡視を爲し歸途長官々舍に於て少憩を爲し午後五時二十分旅館常盤に入れり同夜は上林道長官の晚餐會に臨み二十五日午前十時論山へ向け自動車にて出發せり(公州電話)

◉秋山大將北行

秋山軍司令官は既報の如く軍隊教育狀況視察のため二十五日午前九時二十分龍山發列車にて野津副官を隨へ平壤に出張したり

◉總長水原行

古海警務總長は副官警視以下を隨へ二十六日水原警察署に就いて事務の巡閱をなすべしと

◉立花師團長來壤

第十九師團長陸軍中將立花小一郞將軍は三月二十四日午後三時三十分山崎參謀大森中尉を隨へ平壤著列車にて來壤したるが驛頭には野島聯隊長高山副官其他各將校新聞記者等多數の出迎へを受直ちに旅館柳屋に入れり因に中將は二十七日迄滯壤すべし(平壤)

◉警務部の警官教練

京畿道警務部にては管內各警察署より警官二名宛を召集し二十四日より一週間術科教練及び劍道等の講習を開始し吉田副官藤田警部教官として本町警察署構內に於て講習中なり

◉李埈公葬儀次第

故李埈公の御葬儀は四月五日御執行の由は既報の如くなるが其次第左の如く發表されたり

五日午前九時 御出棺
同 午前十時 御發靷
同 午後一時 孔德里に於て祭儀御執行
同 午後二時四十五分 同地墓所へ御埋棺
同 夕刻 返虞

◉下關出張所認可

[illegible]計畫中なりし同社[illegible]上の一機關たる下關出張所新設の件は二十四日[illegible]開所をなすべしと

◉松平子爵東上

東拓理事松平直平子は二十四日午後嚴父の容態急變したる旨絶望的の飛電に接し同夜七時五十分發列車にて直路東上したるが停車場には同社重役社員其他の見送りありたり

◉大田鮮銀理事入京

東上中なりし鮮銀理事大田三郎氏は二十五日午前八時五十分著列車にて行員其他の出迎ひを受け入京朝鮮ホテルに入れり約一週日滯在の後大連に歸任すべし

◉笠原寬美氏歸京

三井物產京城支店長代理笠原寬美氏は久しく東上中なりしが二十五日朝歸京せり

◉滿洲に於ける鮮銀の經營

鮮銀理事 大田三郎氏談

二十五日朝入京せる鮮銀理事大田三郎氏を車中に迎ふ、曰く

▲勸銀提携問題 滿洲に於ける勸業銀行が勸業銀行代理店として不動產擔保の長期貸附を行らうとの議は目下東京の關係方面で商議研究中に屬しまだ最後の決定を見る迄には至つて居らぬ、此問題の解決には商業政策上の色々な關係がコダワツたりしてゐるけれど何れにせよ遠からず好望に落著を見るだらうと思つてゐる、內容ですか餘り今日に於て多くを云ひたくない、然し大要を申せば第一法律關係より見ると鮮銀の方は勸銀の代理貸附を滿洲の不動產に行ふと云ふのだから總督の認可を經れば別に鮮銀法案は現行の儘で差支へはない、然し勸業銀行法は同行の貸附擔保を所有權と限定してゐる爲め(一)地上の家屋其他の建物擔保貸附は何等差支へないが(二)關東州の租借權滿洲に於ける商租權に對しての融通は現行の勸銀法が認めない事となる、尤も滿洲關東州の一部分には露西亞時代の關係から土地所有權の認められた部分もあるがそれは極めて狹少で殆んど問題にならない、で結局勸銀鮮銀の提携成立するも勸銀法を改正して商租權や租借權に貸附け得る途を拓かれぬ限り、鮮銀の勸銀代理貸附をなし得る範圍は殆んど建物と云ふ範圍に局限される譯だ

▲吉林支店の新設 吉林支店の開設は夙に內部で計畫をしてゐた、これで鮮銀の滿洲に於ける機關は大體整備したと云つてよい、吉林支店の新設理由ですか、吉林は廣大な吉林省の首都で古來奉天と併稱された商業殷賑の地である、朝鮮銀行が滿洲に於て地歩を占め活動を續けて行くには爲替其他の關係より云ふも同地に一店の設營は必要である、それに近來滿洲に於ける日本人の事業界の機運は漸次吉林方面に及んで[illegible]り、同地に日本の金融機關を有すると云ふ事は大きく云へば滿洲に於ける同胞の發展上切要である、然も今日に於て正金も正隆も其ブランチを有たず、北滿銀行の派出所があつたけれど過般同行の閉店と共に消滅の止むなきに至つてゐる、更に吉林は將來吉會線の起點となる重要な場所で、北鮮及び間島と商業關係を結ぶ上に於ても茲に鮮銀の一つの店を必要とする、又同地方の通貨は不換紙幣の吉林官帖を主とし露貨の勢力が可なり弱い、而して鮮銀及び正金の銀行券も亦少なからず入つてゐる、で此の混亂せる間に將來益々邦貨の流通を擴大させて行からと云ふ上から見るも一店の存在は意味があるのである、開店準備は及ぶ丈け取り急ぎ四月中には店を開ける事が出來るであらう

▲鮮銀の新株 鮮銀の新株募集は意外の好況であつた、予の東京を出發つ時迄はプレミヤム三十圓以上は全部募入二十九圓は按分で募入すると云ふ事だけは極つてゐたが、其の二十九圓の應募申込の何パーセント迄活きるのであるかは倫ほ見當がついてゐなかつた、何しろ三萬株の公募に對し十萬以上の申込みを算したのだから其の整理は大變な面倒である、予は當分大連に駐まる事となつた、約一週日滯京の上歸連の筈である

◉仁川會例會

仁川に關係ある在京城有志を以て組織せる仁川會は其の第四回例會を二十四日の夜花月に開きしが會衆約五十名席定まるや古城氏は起つて京仁實業家提携の必要と仁川懷舊の演說あり仁川より來會せし宅氏も趣味ある答辭をなし一同交驩の後十時頃散會せしが主なる參會者は久水外事課長永沼判事岡京電專務岩崎直英古城菅亭山口太兵衞氏等にして仁川より實業家數氏來京せりと

◉國境渡江農民

鮮領豆滿江沿岸は原野廣大なるに拘らず土地概ね磽确にして農作物の生育良好ならざるに反し一葦帶水の對岸支那領間島は土地肥沃にして農作物の栽培に適するより接壤地域たる慶興、慶源、鍾城、穩城、富寧、會寧、茂山各郡の農民は江を渡りて間島を耕作し以て農業を營みつゝあり最近某筋の調査に依れば鮮地農民の對岸土地所有者は合計九百二十一戶其耕地面積一千六百三十四町三反步にして一戶所有耕地は最大二十町五反最小一反平均一町八反なり又た對岸土地耕作戶數は自作八百三戶小作一千三十九戶計一千八百四十二戶にして耕作反別は自作一千百四十町步小作一千二百八十九町一反、計二千四百二十九町一反なるが之が耕種農作物別は粟一千八十九町三反大豆四百四十七町八反稗三百十七町七反大麥二百卌町二反玉蜀黍百十三町六反蜀黍六十六町九反馬鈴薯十五町七反其他五十七町九反にして又其收穫高は粟二千七百六十三石大豆二千六百十四石稗二千七百六十三石大麥千九百八十三石玉蜀黍八百石蜀黍二百四十石馬鈴薯二萬三千二百二十九貫其他四百九石なり而して越江耕作者の中には朝に江を渡り一日耕作して夕に再び江を渡りて鮮地に歸るものと農期中對岸に移住し耕作するものとの別あり前者は千四百五十戶其の人員二千四百七十九人耕地面積一千五百七十六町にして後者は三百三十九戶五百五十一人耕地七百四十七町一反なり(淸津)

◉露領沿海州の鰊漁

昨今漸く露領沿海州地方鰊漁期に入りたるより例年の如く之が買出の爲め咸南北沿岸漁船の渡航するもの多きが此等漁船は旅劵下附手續上其他歸來後の取引關係等より何れも一度は淸津港に寄港し旅劵の下附を得たる上或は買入資金を借入れ或は航海中の飲食物の準備等を爲すもあるが本月五六日來の淸津港內は此等漁船常に百數十隻碇泊し居るより帆檣林立して壯觀を呈し又た陸上には七八百名の乘組漁夫が旅劵下附其他の用件にて押步く事とて一方ならず賑を呈し居れり而して本年露國にては輸出鰊に對し一隻每に百五十留の重稅を課すと云ひ或は全然輸出を禁止すべしなど專ら取沙汰せられしも實際に於ては斯る事なく平年の如く自由に輸出し得るが如く買出漁船の如きも昨年に比すれば增加せる傾向あり昨年春鰊買出の爲淸津港を出港せしは一回歸航して更に出かけしものをも加へて二百二三十隻に過ぎざりしが本年は本月十四五日頃までに入港せるものにて既に二百隻に達すべきを以て終漁期迄には六年に倍するの出漁船あるべきの豫想なり隨つて斯の鰊も昨年の約二千萬尾價格十一萬圓に比すれば其倍額にも達する事なるべし此等漁船は既に露領に向つて弗々出帆したれば四月上旬より續々浦鹽鰊の輸入せられ再び市況に活氣を添ふるなるべし因に淸津の露國鰊輸入額は逐年增加し之を大正五年頃に比すれば約十倍の激增を示せり(淸津)

口仁川近海漁況

四月に入れば盛んに獲れる

仁川近海の漁況を聞くに三月中は未だ二月に引續き閑散期で漁獲物も漸く內から鰛と鰈が大靑島德積島附近から鱈鮟鱇が水揚せられた鰛は氣候の關係上目下鮟鱇網漁船が七隻朝鮮刺網三隻從漁して居るが水揚量は極めて微々たる者で從つて

▲相場が比較的高い 然し數日後の大潮には潮流を利用する鮟鱇網に多少の漁獲はあるだらうとの見込である鱈は數日前德積島方面に出漁した二艘の漁船が約百七八十圓の水揚をして入港したが相場は七八百目物十六七錢で鰈は釣繩漁船四艘に依つて大靑島方面に出漁したが結果は思はしからず

▲相場は三貫目位のもので五六錢位であつた、牡蠣は仁川近海に於て獲れるが其量も極めて微々たる者で元山方面から入荷する牡蠣は大物で石油罐一箱原價三圓二三十錢位であるが仁川では二圓五六十錢が市價であるから到底引合はない目下仁川に仕向けて來る地方は釜山統營、三千浦、馬山等の南鮮地方から內地では長崎門司其他の地方である此等移入の

▲漁類の平均相場は鯛十貫三十圓、海鰻十六圓、海老二十五圓、鰈二十三圓、鰤十六圓、鯖九圓、[illegible]十一圓、鰛四圓五十錢見當である然し四月上旬頃から仁川の近海漁業も弗々盛んになるから魚價も次第に安くなり隨つて京城にも影響するであらう(仁川)

◉鮮鐵中旬收入

三月中旬に於ける鮮鐵營業成績は客車收入十三萬三千圓貨車收入十六萬五千圓合計二十九萬八千圓にして一日一哩平均二十八圓〇四錢なりと

◉訂正

二十四日夕刊鮮銀の東滿發展と題する記事中鮮銀吉林出張所とありしは支店の誤まりに付訂正す

仁川

▲看護婦生徒募集 日本赤十字社朝鮮本部にては總督府醫院、大邱及び平壤慈惠醫院に委託し看護婦を養成する由仁川府管內志願者は仁川委員長桶野府尹宛に入學志願書戶籍謄本を提出せらる可しと規程は修業年限は三學年にして年齢は滿十六年以上二十五年以下にして入學試驗は高等小學卒業程度の國語算術の二科目なりと學資は一人月額八圓以內を給與し宿舍を給し被服を貸與す卒業生は卒業後滿二箇年間總督府醫院慈惠醫院看護婦に從事し且爾後滿五箇年間は朝鮮本部に於て災害救護又は其他必要の場合は召集に應ずる義務を負ふ可しと

▲卒業生寄附 仁川商業專修學校卒業生飯田、田邊、廣瀨、田中、技本の五名は學校基本財產中へ金二圓づゝ寄附したり

▲仁川電氣休電 京電仁川支店にては汽罐修理の爲め二十五六の兩日間午前六時より午後六時迄送電を停止する由

▲奥村警部來仁 京城本町警察署奥村警部は二十四日富平に至り一泊の上二十五日來仁仁川警察署及び檢事局に於て事務打合せの上同日歸任

鳥致院

▲屠獸場の建築 鳥致院衞生組合に於て計畫せられありし屠獸場建築の議は大正五年度豫算に於て牛畜の價格昂騰の結果屠殺數多少減少したる爲め歲入減を生じたるのみならず火葬場建築の爲めに其の敷地買收並に屠獸場敷地買收費等豫期以外の支出嵩まりたる結果豫定の工事を進むる能はざるに至りたれば已むを得ず屠獸場の建築は二年繼續にて斷行する方針を執り大正六年の六月頃までには完成を見るに至るべし尙ほ同組合は來年度に於ては其の筋の補助を受け壹千數百圓を投じ傳染病隔離病舍をも建設すべき方針にて目下豫算の編成中なり

晉州

▲管理者任命 缺員中なりし學校組合管理者は去る十九日附を以て淸水佐太郞氏に任命ありたり

▲公立學校卒業式 當地公立小學校にては本日午前十時より卒業式を擧行せり來賓道長官を始め評議員及び有力者數十名にて佐々木道長官は卒業生に對し一場の訓示をなせり

釜山

▲朝鮮輕鐵入札 朝鮮輕便鐵道會社第一期線の中大邱河陽間の工事入札は愈よ二十六日釜山同會社に於て行ふ筈なるが指名入札者は總數二十八名なりと

▲師團經理部長東上 第十七師團經理部長香山剛毅氏は東京に於ける經理部長會議に參列の爲め上京の途廿四日午前五時四十九分來釜同夜出港安平丸にて東上せり

▲聯國軍隊慰問醵金 釜山に於ける聯合國軍隊慰問醵出金は福田增兵衞、[illegible]左工衞、保家收藏、安武千代吉、木下元次郞、李紫雨、吳仁圭各十圓宛、釜山水產會社三圓合計八十三圓なりと

▲記念品贈呈 釜山土木局出張所長より本局に轉任したる[illegible]氏の送別會に代へ記念品を贈呈することに決し府廳土木課にて本月末日迄に取纏むる筈なり

▲釜山日報祝賀會 釜山日報社は同社新聞改題の十周年を記念すべく來る四月三日午前十時より官民多數を釜山座に招待し大祝宴を開催し尙四月八日午後山手鎭埋立廣場に於て各組合團體の聯合大運動會を開催する筈也

人事消息

▲市川少將(平壤第三十九旅團長) 廿五日朝退京
▲岡田乙吉氏(同副官) 同上
▲上村敬太郞氏(朝鮮興業會社長) 廿五日朝退京
▲安倉三吉氏(大阪亞細亞會社) 同上
▲櫻井增太郞氏(淺野合資會社技師) 廿五日朝入京[illegible]旅館へ
▲中村輔七郞氏(慶南道警務部) 廿五日夜退京の筈
▲今村銈氏(同上) 同上
▲中野彥[illegible]氏(技師) 二十四日午後水原より入京
▲赤谷[illegible]志氏([illegible]) 二十四日午後內地より歸任
▲岡田乙吉氏(同副長) 同上
▲和山[illegible]雄氏(京都帝大教授理學士) 同上朝釜
▲宮舘貞一氏(本町警察署長) 二十五日午前仁川へ

逐鹿夜話

▲某所で選擧運動員を警察へ喚んで取締を申聞かせると一人の醫師先生が『私は醫者で法律を知らんのですが一體病家へ行つて診斷を仕舞つた後で誰さんに投票して下さいと頼んでも違反になりますか』と聞くと『選擧民の意思を拘束せぬ程度ならば宜しい』と說明されたが醫者先生鳥渡判りの遲い性と見ねて『承知しなかつた處で毒を盛りもしませぬがネ』イヤ其れで毒を盛られてはやり切れぬ其れなれば恐ろしいお醫者樣だ殺人犯だ

▲選擧運動に使用の目的で政友會某候補者が原總裁の揮毫を賴むべく原氏直參の某氏に相談すると『總裁は一切揮毫せぬから駄目だ』と賴りない返答なので少からず癪に障て故陸奧伯追悼碑の搨物を見たが其の揮毫者は立派に原敬と署名してあると急所を突いて一本參らすと相手はクスく笑ひつゝ『彼の揮毫者は實の處中田敬義だよ』

▲選擧民が古島一雄君に『貴君の政見發表演說は四五度聽いたが何時も同じやうに思はれますチト變つた說を承はりたい』と云ふと古島君答へて『神佛に祈るのに何時も家內安全息災延命といふ如く別に變つた祈り方もありますまい私の政見に二つ有りません』

▲一と口に選擧と云ふも地盤を堅むるには却々苦勞がいる憲政會の矢島浦太郞君などは鄕里信州に冠婚祭禮係見た樣な役目の男を年中一人置いてある此男が何時も矢島君の代理として葬禮があれば香典婚禮があれば御祝儀村の太郞作が遠方へ旅行すると云へば送別會だから今度なども地盤が堅く樂觀して居る相な鳴呼代議士たらんとする者も亦た生苦勞の第一なる哉

四月一日得度式を擧ぐる
東本願寺法主法嗣　光養麿君

●觀光團季節！外人客の京城
滯在の期間が段々長くなる

名にし負ふ朝鮮の風物にあこがれて米國からの觀光團が續々來る、廿三日の夜も北の北京から

■十七人の團體が來た、前から滯在中の觀光團、後から詰めかけるお客さん、頃日の朝鮮ホテルは千客萬來の大繁昌で滯留中の外人はざつと、四十六人、朝夕の食室は狹すぎると云ふので毎度大食堂で饗待する、これが爲め京城内地人の宴會などは止を得ずお斷りせなければなるまいとのこと何しろ素晴らしい景氣である

■一箇月も滯在 したいとは満更のお世辭でもないらしい、尤もこれまでは北京、京都に一週間居ても京城などには足を留める者さへなかつたのが一昨年頃から一日滯在となり昨年から二日となり今年は四日滯在としたとは面白い現象でこれも官民擧つて外人客の歡迎につとめホテルなどの完備によるのであらうと因に昨今から四月末頃迄にかけては盛んに觀光團の動く季節である

●中尉慘死
飛行中に墜落

杉野飛行中尉は二十五日午前東京府下北豐島郡尾久村に於て飛行中墜落慘死せり（東京特電）

●砲兵中尉酒亂のため營兵十餘名を斬る

新臘初旬第四師團深山重砲兵第三聯隊が阿武野に演習中殘留兵監督たりし砲兵中尉坪倉駿夫（三〇）が大酒の爲め指揮刀にて營兵十餘名を斬りたる事件此程に至り調査に着手せり（大阪特電）

◇樺山大將の壽像
▲十八日除幕式擧行

臺灣基隆埠頭停車場前に建設されし樺山初代總督の壽像除幕式は十八日午前十一時同所に於て擧行せられたり當日は除幕の後會主の挨拶來賓祝辭等ありて一同壽像の周圍を一週し餅撒き及び會宴ありたるが臺北より官民約二百人の來賓あり之が爲めに臨時列車を運轉し盛況を極めたり（臺北）

■觀光團の道程 は主に横濱に上陸して神戸や瀨戸内海を素通りにしマニラ、香港、上海、北京を經て京城に入る順序お次ぎに櫻の日本を觀んとて四月上旬頃から相踵いでつめかける、現に十七名の米國人はマックバーネー氏夫妻、エリー夫人の如きシカゴ、紐育、イリノイス地方の百萬長者を筆頭に何れも

■金に飽かせた 貴賓室住ひ二十四日朝から市中を見物して午後は昌德宮の博物館見物、折から李公の御用事で普通の人はお斷りなれど特に遠來のお客様には見せるとあつて何れも非常の大よろこび、これでは米國のアメリカンエキスプレス會社やレーモンド會社の如き大旅行案内會社が京城四日滯在の日程をつくつて呉れたのが短か過ぎるもの〳〵

●釜山各小學校卒業式

釜山府立各小學校は二十三、四兩日に於て卒業證書並びに修業證書授與式を擧行し

第二尋常小學校（寶水町）三月廿四日午前九時擧行卒業生徒百〇八名（内優等者七名（褒彰生徒）[illegible]本邦富子、安永不二男、東彌平子（修業生徒）六百〇二名内優等卅六名▲同第三尋常小學校[illegible]三月廿三日午前九時擧行卒業生徒七[illegible]

因に表彰生徒に對しては學業優等、操行善良なりし■褒賞並に賞品を授與せり

[illegible]郎、吉田恒藏、古城憲治、同朝彦、野坂直次、英國人二名、韓國人一名
二等廿二名 山縣傳三郎、島崎行敏、長曾我部弘、近藤見才次、久保田ふく、氷谷勝志、和田佐一[illegible]

一等四名 笠原寛美、太田三郎、川那部正平、佛國人一名
二等廿二名 根本備太郎、岡ひで、同三郎、[illegible]野口東一、堀尾みわ、並城こと、河野[illegible]居網三郎、木村城之、堀勝三、同ふさ、同成一、小池まつ、湯川[illegible]

■課題募集規定 [illegible]

■募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に[illegible]上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]は一週間後▲[illegible]

◇＝◇榮の雛鳥◇＝◇
市内小學校優等卒業生

♣乃木大將とお菓子
鍾路小學校　上田義雄（十三歲）君

鍾路小學校の尋常科六年卒業生では上田義雄君（十三歲）が最優等、お父さんは李王職の官吏で義雄さんを可愛がる、毎朝早く起きて一日も休むことがない、成績は九點の手工を除く他みな十點で中學校の試驗にも立派に通つた、遊び事は『驅逐水雷』が大好きで先生の命令も姉さんの教へもよく守る、好きな學科は算術で大きくなつたらお醫者さんになりたいとのこと、歴史上の人物では乃木大將が一番すき、お菓子もすき

♣溫和しくて確乎
鍾路小學校　野崎馨（十三歲）孃

鍾路小學校尋常六の優等卒業生では女の組に野崎馨さん（十三歲）が最優等、お父さんは東拓の野崎滋次郎氏、學科は算術を除けばみな甲ばかり、温順しくて確乎して居て言葉も明晰して居る、家庭では大勢の弟さん達のお守から裁縫の御手傳までして身體も丈夫で強壯家、女學校の入學試驗も無事通つた上、併しお菓子も大好きで崇拜する人は乃木大將夫人

♣深切で素直な人
鍾路小學校　松原歡重（十六歲）孃

鍾路小學校高等科の優等卒業生は女生徒の松原歡重さん（十六歲）お父さんは南大門驛前の運送店松原榮氏で近く總選擧に打つて出ようとの矢先に娘さんの方がお先へ及第した、歡重さんは體操と唱歌の九點を除く他は皆十點の好成績で其の中裁縫と算術が最もお得意、お友達にも親切で性質も至つて素直な人、京城高等女學校には今年から三年級の編入が廢むだので仁川の三年生に入學の筈、嗜きなものはお菓子だ相でむかしからの人物では新井白石が一番好き、理由は白石先生は困苦を厭はず勉強し富豪の家から妻をすゝめられても立派に斷はつたのが偉いから……とのこと

小學校優等卒業生
（一、上田義雄君　二、松原歡重子　三、野崎馨子　四、吉田辰次郎君　五、常田茂子）

♣皆十點ばかり
櫻井小學校　吉田辰次郎（十三歲）君

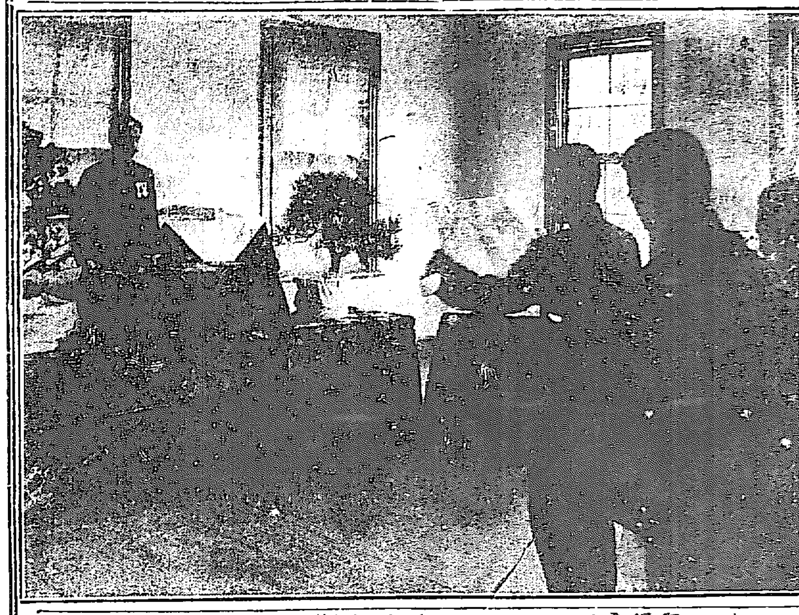
京城中學の入學試驗にいつも多數の入學者を出す櫻井小學校は土井先生が一生懸命になつて敎へる、吉田辰三郎君も芽出度く中學に入學した一人で君はお父さんが死なれたので今は仁義洞の伯父さんの宅から通學する、學科は總て十點ばかりで九點に下つたものは一つもない、大閤さんが崇拜人物だ相で果物がすき、朝は早く起きるともあり遲く起きるともあると正直な返事であつた

♣六時から起きて
櫻井小學校　常田茂子（十三歲）孃

茂子さんは女子の優等生、學科はいつもよく能きて算術などは男子も及ばぬ程によく解る、性質は極く温順な方で遊戲にもおはなしにも沈着なところがよく見ゆる、朝は電燈の消ゆる六時半頃から甲斐々々しく起きて數多き妹さん達のお世話をする、今回京畿道から表彰されて『婦人の鑑』一冊を貰ひ大よろこびであつた、歴史上の人物では上杉謙信がすき、理由は人をそねます義俠心があるから……また女では上毛野刀の妻がすき、なぜといへば刀が蝦夷で攻められた時妻は夫の城から逃げるのを止めてわが武勇の家名を辱かしむ勿れといつたから……と、やさしいハキハキした答へである

●南大門停車場構内の火災
機關庫附屬機關夫休憩所全燒

廿四日午後十一時四十五分頃京城南大門停車場構内機關庫附屬物機關夫休憩所より發火し居れるを機關車運轉中の機關夫石野武が發見したるが休憩所室内は既に一面の猛火と化し居たるより急報に接し南大門常備消防を初め義勇消防等出動して消防に努め一方本町警察署より警官出張して警戒に任じ休憩所（十二坪）を全燒し次いで瓦葺煉瓦建機關庫の屋根を燒き拔きたるのみにて翌午前一時頃鎭火したり非常汽笛の音に驚きたる附近にては一時騷ぎたるも幸に延燒なく人畜に異狀なかりし出火の原因に就いては尙取調べ中なるが前記休憩所の暖爐の煙突より發火したるものならんと尙損害額に就いては目下取調中



東洋協會植民專門學校卒業式

●巧みな朝鮮語で答辭
東洋協會專門學校卒業式

東洋協會植民專門學校京城分校第十回卒業式は廿五日午前十時より山縣政務總監臨場の上同校講堂に於て擧式、校長の學事報告、證書及び賞品授與校長の訓示あり政務總監總督告辭を朗讀し來賓として松永道長官祝辭を朗讀し卒業生總代として中村大次氏答辭を朗讀し上田鐵也氏朝鮮語を以て答辭を述べ午前十一時頃式を終り一同校庭に於て記念寫眞の撮影を爲し來賓は別室に於て茶菓を饗應せられたり本年度卒業生は二十五名にして學校より夫れ〳〵就職推薦を爲し過半は既に就職確定せりとの事なるが卒業生及び其の就職先は左の如し

小野田セメント石野秀夫▲濱洲農工銀行市村凱壽▲朝鮮總督府營林廠井上嘉一郎▲朝鮮銀行二宮聰▲三井物産會社星野喜三郎▲藤田組富塚梅吉▲地方金融組合金子精▲朝鮮總督府遞信局田中兵三▲朝鮮銀行中村大次▲地方金融組合中村知▲地方金融組合中村四郎▲地方金融組合上田鐵也▲朝鮮總督府上村大▲三菱合資會社熊澤敬▲朝鮮銀行松林義三▲地方金融組合松村耕作▲三菱合資會社小菅保郎▲地方金融組合遠藤林一▲地方金融組合阿久津正明▲地方金融組合赤木直枝▲東洋拓殖會社木原喜一▲地方金融組合宮本庸三▲地方金融組合清水萬次郎▲地方金融組合森要

壽座大興行
御待ち兼の 曾我廼家喜劇 喋鳥會來る
愈々當る二十六日より毎日午後正五時開演致します
喋鳥會は世間並の喜劇と違ひ觀客本位の最も自然的興味を導ひ濃厚なる色彩を帶たる女優喜劇にして一派殊なる趣味を有す一度御覽の上御批評を乞ふ
電話五七八番　壽座

●光熙町の小火
二十四日午後八時半頃京城光熙町二丁目五三洞德方温突より出火せしも家人が消止めたり

●鮮婦の轢死
平安南道价川郡价川鐵道新安州起點を距る十七哩七鎖の地點价川鐵橋の上に於て去る十七日午後七頃時年齡五十位の朝鮮婦人一名轢死を遂げたり

■風聲會素謠會
風聲會にては三月二十五日午後一時三十分より俱樂部に於て第二十七回素謠會を催したり

醫師一名招聘
但開業免狀を有する內地人
詳細は直接面談
京城旭町一丁目 電話六九二番　小林醫院

伊東祐穀著
第十回 袖珍世界年鑑
三月再版出來
特價金一圓二十錢 送料金八錢
著者兼發行者 東京市麴町區永田町二ノ一 伊東祐穀
發賣所 東京丸善株式會社 合資會社東京堂書店
同大阪京都仙臺支店及全國各書店取次

解雇廣告
店員 千田杏平
右之者不都合の爲め本月五日限り解雇仕候間此段廣告候也
京城觀水洞 電話二七九五番　大谷印刷所

鑛石分析賣買
電信電話電燈電鈴表示器避雷針建設請負
電氣機類販賣
諸官衙御用 京城黄金町一丁目一五七番地 勝山洋行 電話二九三七番
代理店 京城吉野町一丁目 藤長商店 電話一三一七番
代理店 仁川宮町通り 早川染工場

最上醬油元祖 到處酒醬油店に有
上
ヤマサ醬油
創業二百七十三年
醸造元 濱口儀兵衛商店
一手販賣 [illegible]

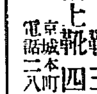
營業課目
▲石鹼各種▲化粧品一式▲齒刷子
▲石鹼容器▲流行小間物一式▲帶上芯
▲元結▲メリヤス▲紙製袋▲糸組
▲瓶具▲文具▲鏡▲荒物▲金物
▲袋物鞄其他雜貨一式
買次取扱品
右は有力なる本舗及大工場と特別の契約を成し尤も安價に尤も迅速に出荷す
取引はすべて現金とす引換證附荷物は總金額に對する約二割の御送金を乞ふ
流行 丸髷お七形 發賣元
石鹼化粧品小間物雜貨卸問屋
原田東久堂
大阪心齋橋南久寶寺町北 電話東二六二〇番 振替大阪三〇一番

天氣
北西の風晴時々曇
（廿五日午後六時より廿六日午後六時迄）
三月廿六日 [illegible]

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二三七 九二〇九番

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
電話 二一六四六番 二一三九番
振替京城一八一六二一〇五番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

二重底 學生靴 特價販賣
堅牢無比
三百足限り左の價額を以て發賣仕候
半靴 三圓八十錢 同上製 四圓
編上靴 四圓五十錢 同上製 四圓七十錢



京城本町二丁目 電話二八〇二番
紀伊國屋靴店

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六
東京パイン萬年筆出張所

三月二十四日より三月二十八日まで
栗羊羹 特價金十二錢
京城本町 電話二七四七五番
龜屋商店

クリヤウカンデー

○營業地域擴張廣告
是迄當支店の營業地域は京城市内に限り居り候處今般仁川、大邱、平壤其他鐵道沿線の附近主要地にも擴張することゝし土地建物に對し低利にて金融可申上又建物建築請負並に月賦償還建物建築可仕候間續々御申込被下度希望致候
大正六年三月
京城府黄金町二丁目五十五番地
東京建物株式會社京城支店
創立明治二十九年 資本金五百萬圓
電話一六八一番 一三八一番 振替貯金口座一八八

鐵綱 木材 船具
鎭南浦三和町
株式會社 中村組商業部
電話百十六番

日用文獨習
▲平壤高等普通學校長 田中玄黄序
▲平壤高等普通學校敎諭 三橋環編
本書は特に初學者の爲に達意の書簡文を自由自在に認め得るやう意を罩められたるもの、着想斬新、内容豐贍、組織整備、範例最も適切にして解說極めて平易懇切且つ精密眞に斯文を志す人の活寶典たり
並製五十錢 特製六十錢 郵稅六錢
▲大賣捌所 京城日韓書房 京城大坂屋書店 京城巖松堂書店 京城ウツボヤ書店
▲發行所 平壤勝坂文餅堂

◎嬉しさうに證書を抱へて
鐘路、櫻井、日出、元町、西大門小學校卒業式

廿五日は各小學校の卒業式『學びの窓の明け暮れに睦びかはせし友の愛導きたまひし師の恩……』可愛らしい歌の合唱と共にお芽出たい卒業式が行はれた、鐘路小學校は午前十時半より始まり來賓には趙子爵、金谷府尹、青木戒三氏、呼子事務官等の人々臨席、午前十一時半式を終ゑ、

證書を抱いて(廿五日鐘路小學校にて)

久、横尾助武、佐藤克子、江原幸子の四名、正午式を終つて午後は樂しい送別の茶話會、櫻井小學校は午前十時半擧式、府尹代理森府書記の祝詞代讀あつて正午式を終る、尋常科卒業生は男八十一名、女七十三名、中優等卒業生は吉田辰三郎、常田茂子以下廿二名、五箇年皆勤には坂井克三、今瀬君子、長谷川藤夫、田中勝君あり午後は學藝會及茶話會、▲日出元町小學校にては午前十時半より擧式、卒業生は高等科八十五名中村松富次郎、石井敬行、志田きよ子さんが優等、尋常科は七十六名の卒業生中山本龍雄、鈴木留守一、武藤たけ子さんが優等、式後開校五周年の

▲記念祭を兼ねて展覽會

お祝ひがあつた、また西大門高等尋常小學校にては午前十時半より擧式來賓には小河原視學官、大山府書記始め保護者約二百名、高等卒業生百二十一名中山田雄三、與田一夫、藤本榮吉君最優等にて京畿道より表彰され尋常科は百八名の卒業生中奥田勇、淺野好、野阪彦介君最優等にて同前、正午式を終ゑ、午後は成績品展覽會となつた

▲補習科にて は卒業生十名中秀島ヨシ子、田中淑子兩氏優等、高等科にては六十二名の卒業生中松原數重、安樂トヨ、松下常藏、相川晧、原田幸、加藤マル子六名優等、尋常科卒業生は男女八十五名中優等生十二名中上田發雄、野﨑磐兩氏は京畿道より表彰された、猶ほ午後は展覽會及び送別茶話會など午後四時頃まで賑やかに打ちつゞいた、日出小學校にては午前十時半より擧行、松永道長官、森安﨑學博士、高橋武官、山口太兵衛氏等の來賓あり男女卒業生百六十四名中優等十四名、京畿道より

▲表彰されし 優等生は津田

◎動物園に來た愉快な珍客
李埈公殿下薨去に就き廿九日迄閉鎖

此頃の動物園は春めいて來たので非常の賑ひは殊にお隣りの植物園にも蓮花や水仙などが咲き匂ひ春の遊び場としては最も面白いところとなつた、動物園の愛嬌物はどうしても温室内のお猿さんが最高點、新らしい珍らしいところではお猿さんの隣りのバリー(狐猿)のまた隣りにマダガスカルから來た新バリー君夫婦が御入來、灰色の長い尻尾を肩にかけておとなしく澄むも御愛嬌である更に二號温室の東から二番目には臺灣から新來の『四ツ眼鹿』の御夫婦が居る、大きさは狐ほどの際で爪は鹿と同じこと雄には牛のやうな角があつて口にはまた牙もある御馳走は麥と豆腐のおから等として臺灣の原野に居るまた臺灣からの珍客にはカチカラスの親類なる『山娘鳥』が居る、嘴と脚が珊瑚樹のやうに紅く羽根は瑠璃色で尾羽根が白黑、主に臺灣の深山中腹に棲ふかけすの一種である、さてまた北鮮産の山猫君には耳の尖つた端に一寸位ゐの黑い毛のあるリンクス君が居る、鶴には黄海道の海州から來た三十羽ばかりの丹頂鶴が廿二日から鮹呑みの裝當を御覽に入れるよし因に博物館植物園動物園は李埈公殿下薨去の爲御遠慮をし廿九日まで閉鎖卅日から開館の豫定である

南朝鮮から來た鶴

近松の原作をその儘に
大阪文樂座の新らしい試み

◆大阪名物人形淨瑠璃文樂座は大阪で近松の『心中天網島』を原作の儘で出した、同曲は近松門左衛門六十八歳圓熟期の大傑作で享保五年十二月六日竹本座に於て政太夫が初演した古曲である、人形道具も當時の風俗を寫し播津大掾 [illegible]

[illegible]

◎高女生徒登山

仁川高等女學校では四月の中旬頃例年の通り仁川府附近に聳へて居る高山に登つて體育を練る相である往復四里以上もあつて然かも險しい坂道嶇き乍ら攀ぢ登るので纖弱い女生徒には少々困難の模樣であるが例年の効果が非常に大きいので今年は從來より盛んにするとの事

◎清川江の解氷

平南平北の境界を貫流する清川江は三月十日頃より解氷し初めたるが昨今に至りては全く解氷し渡船荷船の航行を開始し安州附近の江畔は船舶の碇泊するもの頗る多く殷盛を極む

讀者文藝(一等には五十錢の酒券分ち呈す)

△下句付『長々と』

長々と借り物返す花言葉(一等)　京城旭町一丁目　辰司

一前座は客の席を埋め　京城　草寄樓

一並べ過して不足税　龍山　多美郎

一筆苦勞隊で送ん出され　京城　長方生

一書いた終りは無心なり　龍山　乃美

おとぎばなし リボンの
保衣美

春になりました。そしてお日樣が明るい御機嫌のいゝお顔をお見せになりますと、佐和子さんはお家に引こんでゐられなくなりました。學校から歸るとすぐ籠をさげて野の方へ摘草に出かけました。野の青い草はひときわ色が濃くなつて、黄金色の蒲英公は、上を向いて笑つてゐました。どこから來たのか白い蝶や、黄色い蝶が、うれしさうに花から花へと飛びまはつて居りました。

その花や蝶をお友達にして、佐和子さんは籠に一ぱい草も摘めましたから、お母樣に御心配をかけないやうに早くお家へ歸らうと思つて丘の上まで參りますと、道傍の草の蔭に白い蝶がひとりで止つてゐるのを見つけました、もう日も暮れるのに、こんな所にゐて、夜になつたら寒い風が吹くだらうにと、親切な佐和子さんは思ひましたから

『蝶さん、暗くならない間に、早くお家へお歸りよ』

と、呼んでみましたけれど、白い蝶は翅をたたんだまゝ、ぢつとして居ります。佐和子さんは傍へよつて見ますと、可哀相に蝶は死んでゐるのでした、情深い佐和子さんは、草の根を掘つて、そこへ蝶を埋めてやり、近くから木片を拾つて來て、鉛筆で

『テフノオハカ』

と書いて建ててやりました。そして籠から嫁菜の花を出してあげました。そしてお家へ歸つてから、このお話をしますと、お父樣もお母樣も、それは善い事をしたと云つておほめになりましたが、佐和子さんは死んだ蝶が可哀相でなりませんでした、花も蝶も笑つたり踊つたりしてゐる春の野で、どうしてあの白い蝶だけ死んだのかしら?このわけをお母樣にたづねてみました。

『この間の雨にうたれて死んだのだよ。』

とお母樣は仰有いました。

『まあ、雨の日に飛びまはるなんて、ぢつとして花の蔭に凝ん凝してゐればいゝのに。』

と佐和子さんは云ひました。

しかしこれにはわけがあつたのでした、お母樣が續いてお話して下つたのによると、蝶は元は毛虫でありました、母の蝶が木の枝に卵をうみつけて、それから生れたのですが、蝶は毛虫の頃から、お母樣といふものを知りませんでした。自分の生れた木の枝にきいてみますと、それは綺麗な翅をつけた蝶だつたと云ふ事ですが、卵を生みに來たつきり、二度とその姿を見せないとの事でした毛虫から蝶になつて、方々飛びまはりながら

『私の母樣を御存じでありませんか』

と、あつちの花に行つては聞きこつちの草に來てはたづね、夜は見知らぬ草の蔭に泊めてもらつて、毎日毎日お母樣を尋ねまはりましたけれど、どうしても分りませんでした。そしてとうとう息が止まつてしまつたのでした。

『そんなら蝶は可哀相に、とうとうお母樣に會はなかつたのですね。』

と云つた佐和子さんの聲は泣いてゐました。

『さうさう、嬢や、けれども泣かなくてもいいんだよ。白い蝶はこの世ではお母樣に會ふ事は出來ませんでしたけれども、心の美しい者が誰れでも行く神樣のお傍へ行つた時、そこには一年前に行つた母の蝶が、ちやんと待つてゐたのだよ。』

佐和子さんははじめて安心しました

『まあよかつた。』

さう云つて、自分がまるで、その蝶になつたやうに嬉しがりました。その明朝、佐和子さんが目をさましますと、お枕元に蝶形に結んだ綺麗なリボンが置いてありました。これは何時でも佐和子さんが善い事をした時、お母樣が下さる御褒美でありました。(をはり)

司演藝案内

明治町 浪花館 電話二六〇　東京、大阪落語若手揃大一座來る [illegible]

京城本町一丁目 早川演藝部直營 有樂館 [illegible]

二日目 午後七時滿員
軍事 第四快漢ロロー 四巻
活劇 史劇 太田道灌 三巻
革新派 新派悲劇 女舞鶴 四巻
人氣沸くが如き 大正館

京城壽町 電話五七八番 壽座 [illegible]

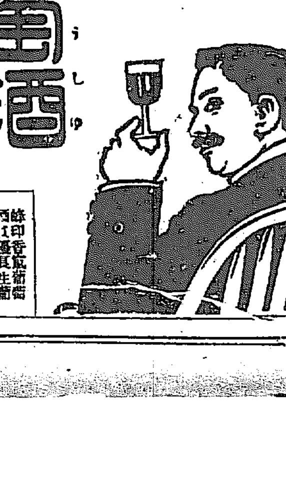
櫻井町 電話八七三 大正館 [illegible]

種子芋
馬鈴薯 但し長崎産赤色丸形
右精選請合品壹萬貫限り
特價御用命に應ず
京城南大門東市場
委託問屋 (大) 藤岡商店 電話一一六四番 振替京城二〇八八番

天下一品
京城太平通二丁目
日本醬油株式會社京城出張所
電話 二四五番 九八二番

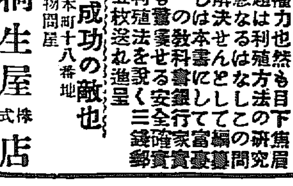
一度親めば忘るゝ事の出來ない
この美味! この滋養!!

美味 滋養
蜂印香竄葡萄酒
誰人も召し上がれ…!
朝夕飲用せば一生涯健全なり
東京日本橋 近藤利兵衛



蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を素とし補血強壯料を主成分として精製せる醇良品なり 毎朝夕一杯づゝで血を増し肉を肥す

内科小兒科
外科花柳病
▲入院隨意▼
酒井醫院
京城旭町一丁目一番地元中央婦人病院跡(朝鮮銀行前停留所より一分間)
電話二五四一番



能書 效能で賣れる 通を引下げ便通をよくし黴毒其他諸毒を下す
大日本大阪高津
電南三元 振替大阪七三
本家 七ふくや 伊藤長兵衛

株式會社 第一銀行京城支店
資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千〇五拾五萬圓
京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
支配人 西村道彦
銀行一般の業務に確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

確的利殖 成金讀本
富豪たらんとせば讀め!!
▽成功者となる第一の近路は!!
▽利殖の方法を撰擇せよ!!
▽最善の利殖法とは抑々何乎!!
▽銀行預金は迂遠である!!
▽諸君に勸めんとする最善方法△
▽確實安全なる現株賣買△
▽誰にも容易に小資本で出來る△
▽先づこの成金讀本を讀め!!△

金は權力也然も目下焦眉の問題は利殖方法の研究より急なるはなしこの問題を解決せんとして編纂されしは本書にして富豪唯一の教科書銀行家實業家も驚く現株賣買の安全確實なる利殖法を説く三錢郵券十五枚送れ進呈

◎躊躇は成功の敵也
東京日本橋區坂本町十八番地 公債株式現物問屋
桐生屋株式店
電話浪花 [illegible]
振替口座東京 [illegible]
電信略號(トウケイキリフ)又(キ)
桐生屋株式店内に東京株式賣買成功會を設置し顧客の便宜を計る

▲金儲けの近路に現株賣買 ▲遠隔地の定期は取引危險 ▲現株賣買は確實安全 [illegible]

[illegible]
三月廿四日午後九時三十分釜山入港
對馬丸 一二等客 [illegible]

明君道中記

第九十六席 田邊南龍口演

家光公は御近臣と與に驅出した二三丁も驅けると息が切れて何分にも驅けられません、其内に御近臣は向ふに行てしまひまする、家光公は跡に遺つて息が切れます故水を飲みたいものだと四方を見ると一ツの寺院がありまする故其處へ來て御覽なさると門の所に成就院と横額が打つてある其處へ入つて 家『コレ誰か居る湯を一杯くれい』と御仰ると向ふの處に六十ばかりになる老僧が畑に杉の苗を植付けて居て 僧『何と云はつしやる 家『湯でも宜いから一碗取らせろ』 僧『ハア茶が喫みたいと云はつしやるか今手が離されぬから汲で上げる譯に叶かない、喫みたくば臺所へ上つて勝手に汲んで喫みなさい』 甚い事を云ふ奴だと思召したが、將軍家といふことを知りませぬ故無理もございません 家『コレ和尚其方は何をいたし居るの 僧『ハイ杉苗を植て居ります 家『杉といふものは何年經たば大木になるのぢや 僧『左樣サ却な五年や十年では大木にはなりません、先づ七八十年も經ねば大木にはならん 家『其方は何歳になる 僧『ハイ六十五歳でございます 家『其方は愚な奴じやな、六十五歳にして七八十年も經つて大木になるといふ杉の苗を今から植て何といたす、其方は二三百年も活ろつもりか 僧『馬鹿なことを云はつしやい其麼に活る者があるものか、六十五と云へばもう活た處で五六年 家『然て見ればその杉はとんと活て居る内には役に立ん、其麼物を植て何といたす 僧『それだから今の若い者は叶んといふのだ、何も此の苗を植付けて俺の爲を計るのでは無い、俺が死んで後跡を襲いで住職になる者の爲に植て置くのだ此の杉が大木となれば本堂の普請又何ぞ建る時の役に立つ、慈うして置けば跡の者の爲になります 家『成程跡の爲を計つてすることか 僧『兎角俺は若い侍は嫌いだ、何故と云ふに自分勝手にして物の義理を知らぬ、今日は將軍樣が此の目黑へ御放になつたと云ふことであるから大方お前樣は家來だらう、今の將軍樣は少しも義理を知らない方だ 家『何に將軍が義理を知らんとな 僧『アレ見なさい、彼の本堂の壁に貼てある菊の畫は幸松丸樣がお描きなされたので 家『幸松とは 僧『二代將軍樣の御子樣松丸君生れて間もなく信州高遠の保科樣へお預けになり其處で御成長なすつて今年二十歳にお成りなさる、今の將軍樣の御弟君であるのに一向御執立の御沙汰もなく其儘に打捨て置くは何と義理を知られぬ方である、保科樣は此寺の檀家であるが至つてお手元不如意、幸松樣も困つてお在なさる、先達御佛參においでなされた時に何も上げる物が無いらとか彼仰つて此の菊の畫を描いてお出なされました、イヤ質にお氣の毒だ』と涙ながらに物語るを聞いて 家光公 家『俗に其方の申す通り幸松樣は保科家に養育を受けて居るのか 僧『然うでございます、洵にお痛はしい、お前樣は將軍樣の御家來なら時機を見て其の事を申し上げておくんなさい 家『承知いたした、折を見て將軍家へ申し上げやう大きに厄介に相成つた』と彼仰つて此の成就院をお立出になりました、入れ代つて御近臣方其處へ入つて參り ○『コレく和尚今此處へお若いお武家が參りはせんか 僧『あゝ來ましたよ、色の黑い丈の高い侍が來て茶をくれと云ふから臺所へ上つて勝手に喫んで行きなさいと云つたら上つて茶を汲んで喫で行きましたよ ○イヤ怪しからん奴だ、それは將軍家に渡らせられる 僧『何に將軍樣だ』と和尚は大きに驚きました

三月廿七日九星
舊二月五日戊辰
本命八白艮 滿赤口

[illegible]

歯科診療 野田歯科醫院
歯科醫士 野田應治
本町一丁目三越向 電話一〇四七番

皮黴科
皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
京城明治町二丁目(元明治町)
佐藤醫院 (電話一一七三番)
入院隨意(診察夜九時迄)
日曜祭日午後二時迄

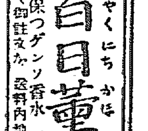
婦人科 産科
二宮醫院
京城壽町四一
醫學士 二宮亮吉
電話一二〇一番

酒煙草きらいになる藥
―禁酒丸―禁煙液―
どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券二錢送れば説明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論進呈

ぬいめなし蚊帳
蚊帳 蒲團 麻布 諸綿 毛布 膝掛
大阪本町壱 西川甚五郎商店
電話本局 長五五八番 一五五九番 振替大阪 六九四番
○相撲表御申越次第進呈
近江國八幡町 西川甚五郎本店
各地支店 東京三店 京都分店 大阪竹
日の出 敷島 枕かや發賣元

袖珍 府及學校組合法規提要
宇佐美内務部長閣下題字
小原地方局長閣下序文
京城日報社編纂
内容 勅令、制令、府令、訓令、通牒等苟も府制令及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅して漏さず就中巻末に添附したる例規の如きは最近七月に發布せるものまでも收めたるを以て府及學校組合は固より内地人各學校教員、組合會議員其他關係者に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也
装幀 携帯に便ならしめんため製本を袖珍としたり紙數は三百餘頁總洋布天金製金文字入りの頗る美本なるに加へ殊に改正法規其他必要事項の記入に便せんが爲め毎頁の上部約一寸五分を餘白とし更らに巻末に十數頁の白紙を綴込みて備忘要欄に供したるが如き以て本書編纂上に於ける用意の一端を窺ふに足る
▲定價金壹圓廿錢 送料本社負擔
大賣捌元 京城太平通一丁目 振替京城三〇一番
京城日報社代理部

大口歡迎
質
京城黄金町長橋町入 電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱



僅か一滴百日薫る百花の精の元素香水
今東京で大評判優雅の匂永く保つゲンソ香水一丁先でも薫りで知れる元素香水つけた人こは一般の定評なり全國の藥店小間物店にあり
萬一品切の時は振替又は代替で御註文を 送料内地八錢海外廿錢
ゲンソ液元素香水本舖 東京神田和泉町 松本榮店 振替東京一七九〇七
小瓶三十錢 中瓶六十錢 大瓶壹圓二十錢 特大瓶二圓

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗
サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 四八一 四五四 九四番
振替京城五七番

▲斯うもお化粧は樂しいものかと
白色美顔水
お用ひの方は仰せられます
▲御安心で、御便利で實益の……白色美顔水▼

御安心です…… 何故なら白色美顔水は普通の水と白粉とを混ぜて出來た樣なものと違ひ、極めて有効な美顔原料で、或特種の白粉を溶解して創製したものですから決して顔を荒したり、白粉燒けしたり、又は白粉が剥けたりする樣な心配がございませんから!!

御便利です…… 何故なら白色美顔水は液體なので例へキメの荒い樣な方や白粉のツキの惡い方々の皮膚にも能く伸びて、すつかり行遍つて、ムラこいふものが無くそしてお急ぎの時なぞにも、手間が要らず直ぐ樣お間に合ひ、極めて上品なお化粧が出來ますから!!

實益です…… 何故なら白色美顔水は、斯ういふ安心な、便利な化粧料でありながら、値段が高くなく、そしてホンの少量使ふだけで立派な、美しいお化粧美を現しますから!!

さればこそ…… 白色美顔水は大變な人氣になりまして、美顔白粉こもこも、尊き御方々の御用を拜し、一般上中流の御家庭にも是非無くてならぬものの一つに數へられて居ります。現に何處の化粧品店でお尋ねになりましても、非常な賣行であることがお解りになります。

◎白色美顔水を創製したる 桃谷研究試驗部
▲顧問 藥學博士 丹波敬三氏 醫學博士 山本淳二氏
▲主任 藥學士 桃谷幹次郎
▲專任 千葉藥學士 小磯靜次郎 仝 齋藤假助

2877.24.3

大阪 桃谷順天館 東京

第三版

京城日報

三月廿六日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

……が無制限にして無差別潜水艇の……に要する迄もなく即ち疾く……る方策を講じ置くが當然なりしなり……きにあらずと雖も表面的且つ直接の目的は海上封鎖にある以上、英國港灣出入の船舶、貨物を撃沈するため……を免がる可からず戰爭は固より戰備の行爲たり戰術闘法の卑怯不法などを云々するは少くとも今の獨逸を相手……明せられたり吾人は大海軍の實力を備へざる可からずとの意を明かにして軍備論を唱へつゝあるに非ずや斯……

▲武裝中立國たるの地位

……は法理上……ことを……要せしなり「米國……要求すべしと備へ……當然の道なり然れども「軍艦……洋に派して獨逸の潛水艇掃蕩第一着手るを目的とす」との說は疑しや事實……將軍に對し……一千五百萬弗……を以て製艦事業の速成を命じ更に兵學校の卒業期繰上げを行ふべしとの說の如きは必ずしも之を對獨海戰策……と言ふ可し（米國）

愛山山路彌吉君（三）

蘇峰生

○君や獨自一己を主持するに於て、[illegible]人の共通性を有したり。君や雷同せず、諂諛せず、盲從せず。如何なる場合に於ても、一個の見識を持し、一個の身分を持し、未だ曾て他の鬪隙に向て、自我を沒入したる事あらず。されど亦た俠骨稜々、恒に弱者の味方たり、窮者の友たり、敗者の同情者たり。要するに君は大なる我儘者也、大なる氣隨者たり。されど他の主我的なるを好まざる如く、自らも亦た決して主我的ならざりし也。他の利己的なるを嫌みせざりし如く、自らも亦た利己的ならざりし也。君は寧ろ過失に近き程、友誼に篤かりし也。君は他の請託に對しては、殆んど一否字を口にする能はざりし程の、弱虫なりし也。君は要するに七分の俠氣、若しくは稚氣と、三分の衒氣、若しくは稚氣とを有したり。君が不羈、自恣の言行を敢てして、其の周圍に少からざる親友と、多くの隨喜者とを有したるは、其の才學、文章の超卓なるが爲めのみならず、眞に君が赤心ある、好男兒たるが爲めならずんばあらず。所謂古今文士の嫉妬、排擠の習氣なるものは、君に於ては一點だも、之を見出す能はざりし也。君は善き意味に於ての江戸兒也。而して他の江戸兒の企て及ばざる、溫かなる血性を有したりし也。君は天才肌也、然も常識あり。然も天才肌也、然も常識あり。君外は疎放にして、内は實に綿密、大膽の硬皮に裹むに、纎々たる細心を以てす。人或は君の脫線的言行を危むも、君や未て曾て一回も脫線せざりし也。君や自から行く可き所を知り、併せて止まる所を知れり。君が三十年間、縱論、橫議を逞くして、未だ言禍に罹らざる所以のものは、其の止まる所を知れば也。君は未だ騎虎の勢に乘じたるをなく、又た恐らくは乘せられたるをなけむ。君は他人に先ちて蓄進するも、他人が盲目的に突擊する際には、君は兩眼を𥇥して、其の危險區域の外に立てり。君が世に處する、決して智ならずと云ふ可らず。但だ若し君にして、今少しく自ら愛重する所以を解し、今少しく其の精力を集中して、其の一大目的に向て、之を傾注したらんには、其の成功は、恐らく倍するものありしならむ。然も是れ唯だ備らんことを賢者に求むるの言のみ。豈に肯て深く君を咎めん哉。

○君身長中人を出でず。而して魁梧肸蠁、其の容顏粗獷なるが如きも、實に一種の愛嬌あり。口を開けば香吐鏘の如く、直ちに他をして、其の青天白日的性行の男兒たるを、解得せしむ。人と交る淡泊にして率易、毫も邊幅を飾らず。親疎、上下の差別なく、直ちに肝膽を輸す。其の一たび交るや、自から渝らず。他の過を咎むるに寬に、自から過を飭するに急也。君は往々過激の言を吐くも、未だ曾て深刻、忌克に失せず。君は恒に溫血にして、時として熱血となり得るも、未だ曾て一滴の冷血をも、君の血管中に見出す能はざりし也。君には感激性あり、君には同情心あり、君の淚腺には、恒に不盡の淚泉を湛へたり。君は能く怒り、能く憤れり。されど未だ曾て一點人に向て、怨讐の念を挿みたることあらず。當に君の人を攻擊するや、棍棒にて、正面より一擊を加ふるの類にして、未だ利刄を以て、背後より刺すが如き事あらず。君は徹上徹下、陽性的快活男兒也。

君にして若し趣味ありとせば、そは平民的趣味也。君は實に無頓著なるのみならず、無頓著を以て、自から誇りとなせり。極言すれば、君は無頓著なる可く、頓著したりと云ふも可也。所謂る三分の衒氣、若しくは稚氣とは、是れ此を意味す。君品行端嚴、足未だ一歩も、暗黑の地を踏まず、口未だ一杯も、酒類を嘗めず。其の外に出ては、侃々諤々の好論客も、家に在りては、唯々諾々の好家爺たり。伉儷光も敦く、子女皆な君を友視す。其の趣味は、明眸皓齒にあらず、貨利逵にあらず、金錢田疇にあらず。又た必らずしも時歐にあらず、必らずしも書畫、骨董の類にあらず。唯だ饑れば大椀飯を喫し、飽けば肱を曲げて眠り、起居坐臥、手未だ嘗て卷を措かざりし也。而して讀書以外の快興は、恐らくは談話と、散步たりしならむ。君が書卷を抜きつゝ、野塘の間を逍遙、緩步する東京近郊は、君に於て殆んど天國に亞ぐの樂園たりし也。

○君や平生人に向て曰く、予が家は短命の血統也、予も亦た長生せじと。其の一昨年丹毒を病むや、君自から一死を期せり。而して僥倖にも再生したり。君や生死關頭を往來して、深く自得する所ありしに似たり。君が今回の死は、其の病の爲めなるも、實は治療の手後れの爲めとは、醫師の言明したる所也。君や家人を制止して、强ひて醫を招くを禁じ、家人の之を聞かずして、招くや、事既に晩かりし也。然も君や自から死期の迫るを知るや、泰然として傍人に語げて曰く、一死亦た快矣、予亦た憾む所なしと。而して醫師に向て曰く、何を以て生死の分堺を知るを得る乎と。更らに筆を摺りて、一首を記して曰く、

泣き泣きはとても去られぬ世なれども生れぬさきの國へ行かなむ

と。是れ實に死に先つ一時間前也。而して其の死に瀕するや曰く、『此より明治天皇の御國に赴かむ』と。生時元氣潑剌たる好男兒は、其の死期に際して、一層見上げたる好男兒として逝けり。生死關頭の專門大博士たる禪學の諸先逹も、此の如き立派なる末期は、恐らくは容易の業にあらざりしならむ。吾人は愛山君平昔修養の、傍人の覗ひ知る能はざる以上に、透徹したる所以を、此の一大事に於て、見知するを得、悲喚の中にも、新たなる獲物を拾得して、自から胸中の欣樂を、覺ねずんばあらず。君や實に短命也、元治元年十二月廿六日生れ、大正六年三月十五日死す。されど君の平生私淑したる頼山陽の、五十三歲にして逝きしに比すれば、更に一年を長くせり。君の大著述の未定稿の儘なるは、深惜に堪へざるも、其の從來の成績を擧げ來らば、君の五十四年の生活は、極めて意義多く、且つ有効なりしを疑ふ可らざる也。嗚呼君以て瞑す可き夫。

日報詩壇

○鴛鴦詞　大久保曉香

雙雙彩羽影在漪。柳陰月下相追隨。交情却惹衆禽妒。伉儷翩翩雄與雌。一夜凶風拆比翼。狂瀾怒沒阿誰姿。可憐芳魂呼不返。孤鸞悵轉鳴且悲。鸞兮勿悲

……吾語再。生者必滅會者離。萬有如幻瞬又瞬。觀來無明一夢癡。滅即是生生即滅。因果相繫錯一絲。苦也逝矣豈徒爾。留與妙機入法怡。再不見現前永劫優遊處。眞如月照白蓮池。

評曰 哀痛淋漓、慰藉懇篤、言言發于至情。

○春日坐雨　黒柳 静洲

一庭幽寂雨聲微。無客朝來閉竹扉。鼎煮松風投案坐。唯看簷鳥濕春衣。

評曰 婉曲

○紀元節書感　西田 白陰

仰瞻寶鼎帝謨雄。皇統連綿長不窮。北海南洋王化浴。旭旗飜處遍春風。

評曰 崇麗

○春日坐雨　竹田 燕雨

雨濕庭前草色肥。吟情漸動捲書幃。朝來無客閒無事。只看雙雙燕子飛。

評曰 清清楚楚

視察團を歡迎する滿洲

我社主催南北滿洲視察團の擧は果然在滿日支官民に多大の贊同と非常の好感を以て迎へられ。其結果各地に前後九回の盛大なる歡迎會が催さるゝ事となりました。斯かる絕好の機會を利用して互に交驩鮮滿在留の同胞が和衷協同國運の發展に資する事の如何に緊要且効果多かる可きかは敢て喋々を要せざる所であります。滿腔の誠意を以て我視察團を待たるゝ在滿日支官民諸氏が之迄に決定せられたる各地の歡迎計畫を茲に公表する事は實に主催兩社が甚大の欣幸とする所であります

滿洲各地の歡迎

奉天

◎奉天將軍公署内に於て督軍張作霖將軍主催の歡迎午餐會（四月十六日正午より）

◎奉天總領事館に於て奉天在留日本官民有志の歡迎晩餐會（四月十六日午後六時半）

大連

◎市外星ケ浦公園に於て朝鮮銀行大連支店主催歡迎園遊會（四月十九日正午より）

◎大和ホテルに於ける大連日支官民有志主催の歡迎晩餐會（四月十九日午後六時半）

◎南滿洲鐵道株式會社主催の視察團歡迎午餐會—場所未定（四月二十日正午より）

其他

◎旅順　白玉山にて都督府より茶菓

◎哈爾賓　日本官民有志の茶話會

◎長春　長春驛屋舍内の茶話會

◎撫順　炭坑々務所主催茶話會

滿洲視察の絕好機會

更に駐滿第十七師團司令部よりは當時の實戰に參加せる將校二名を特派して視察團專用車に同乘せしめ奉天、大石橋間の沿線各所に於ける卅七八年戰役の車中講話あり。又旅順見學の時も同樣當時實戰に參加せる將校の講話があります。其他奉天、營口、大連、旅順、哈爾賓、長春撫順等の各視察地に於て團體見學の際何れも其地官民有志の代表者拾數氏は團員の爲め先導說明の勞を執り猶前記九回の歡迎會茶話會の席上各所共代表者の其地方に關する趣味饒かに實益多き講話があります

日米興業株式會社株式募集

募集要項

目的
一、紐育市内外に於て地所を購入し適當の時期に於て之を賣却すること
二、所有地所を貸付けて地料を收むること
三、所有地所を擔保として低利の外資を輸入し金融業を營むこと

資本金及株數　金五百萬圓（壹株金五拾圓株式總數拾萬株）

募集株數　參萬六千株（六萬四千株は發起人及贊成人にて引受）

申込證據金　壹株に付金五圓（但第一回拂込金拾貳圓五拾錢に充當）

申込期限　大正六年三月二十日より同月廿八日迄

募入方法　申込證到着順により發起人に於て割當を定む

本社は其過去百年間に極端まで竪に發展し、今や急轉直下、積水の堤を決するが如く平面的に擴大しつゝある紐育市内外の地所を購入し、地價の騰貴を待ちつゝ、或は之を擔保として低利の外資を輸入し、金融業をも營むを以て目的とす

米國富力の膨脹、紐育市の發展、共に其迅速なること世界に比なし今回の戰亂は其速度をして更に急激ならしめ、從來業に不足を告げたりし港灣、船渠、交通機關、其他公營私設にかゝるあらゆる設備、さては市區の改正、正に國を擧げての一大問題とはなりぬ、於是乎、當局は市の中央マンハッタン區に於ける工場無慮三萬の中、尠くとも其三分の一をハドソン河の對岸、ニユウジヤーシイ州の郊野（メドウランド）に移轉せしむべきことを提案せり、他なし一はハドソン河底の隧道續々增設せられ其交通急變したること、一は低地の故を以て永く閑却せられたるメドウランドが、排水の設備施され俄然大紐育唯一の工場地と化したるが故なり

本社が劈頭に所有せんとする地所は、上記メドウランドに位置し、宛かも東京市に於ける三菱ケ原の如く、經濟上の大紐育の中央に橫はり、水運の便をも兼ね有する世界の首都の三菱ケ原なり、本社は合衆國憲法及びニユウジヤーシイ州法の規定に據り、之が完全なる所有權を獲得し、時代の要求に應じ堅實に本社の抱負を達する端緒を開かんとす、同志諸賢希くは奮つて參加せられんことを

不肖紐育市内外の地所の將來に着目して、紐育土地建物株式會社を起せしより爰に茲に五年、其間約五千二百名の同胞地主と、其出資によりて購めたる約七百万坪の地所とを紐育市内外に擁したり。或は富豪に說き、或はシンヂケイトを組織して、叙上の成績を擧げたるが、今回更に商法の規定に基きたる株式會社を設立し、此事業の促進を計らんとす、頃日之を知己朋友先輩に諮り、既に九百有餘名の贊成者を得、資本金の約三分の二に當る引受株數を得たり、余若年にして不德、素より其器に非ざるを知ると雖も、推さるゝまゝに斯業に對する一片の自信を以て、僭越ながら立ちて創立委員長となり。敢て天下の同情に訴へ、廣く江湖の贊同を仰がんとす、世の識者幸に之を諒とせられよ

日米興業株式會社
創立委員長　岡本米藏

發起人（次第不同）
野崎彥左衛門　松田三太郎　北村觀太郎　金光三代吉　入江澄治　山本千賀
神坂直太郎　野上壽吉　富田種足　石原延吉　山上治郎　津崎尚武
南谷良策　井村誠一　小栗貞雄　宮嶋三太郎　橫尾壽郎　大久保高明
兒島秀吉　西川八三郎　密田十郎　ジョン、エ、ループ　岡本米藏

贊成人（次第不同）
伯爵 土方久元　伯爵 田中光顯　菅原通敬　金原明善　安廣伴一郎　尾崎行雄　頭山滿　末次竹二郎　男爵 神田乃武　理學博士 齋田功太郎　綱島佳吉　伊澤修二　日比重明　久保男
子爵 秋元興朝　法學博士 元田作之進　法學博士 新渡戶稻造　法學博士 杉榮三郎　法學博士 水野錬太郎　稻茂登三郎　望月圭介　理學博士 今村明恒　相馬半治　高橋琢也　安樂兼道　法學博士 高田早苗　法學博士 天野爲之
門田正經　樽山資英　子爵 清浦奎吾　文學博士 遠藤隆吉　法學博士 寺尾亨　醫學博士 吳秀三　改野耕三　首藤諒　元田[illegible]　井上角五郎　井上純三郎　上島長久　草生政恒　岡本武次
宮西貫之進　宮本千次郎　谷井壽一　多水[illegible]　渡邊[illegible]　古市[illegible]　鈴木[illegible]　池田[illegible]　高山[illegible]　五島[illegible]　志田[illegible]
外九百廿八名

株式申込所

（注意）株式申込御希望の御方は左記へ御申越次第必要書類を御送付可申上候

東京市京橋區南傳馬町三丁目　日米興業株式會社創立事務所　電話京橋二九九七番　振替口座東京三五一二〇番
大阪市東區高麗橋二丁目　日米興業株式會社創立事務所支部　電話本局二〇九九番
京都市上京區[illegible]　紐育土地建物株式會社京都出張所（電話上三六八七番）
岡山市東田町七番地　紐育土地建物株式會社岡山出張所（電話一三七四番）
高松市天神前二百二十八番地　紐育土地建物株式會社高松出張所（電話二一八番）
長野市西町九十四番地　紐育土地建物株式會社長野出張所（電話八〇五番）
熊本市本町安政社内　紐育土地建物株式會社熊本出張所（電話三五八番）
岡山縣笠岡町大字笠岡五〇八番地　紐育土地建物株式會社笠岡出張所（電話六五番）
靜岡市吳服町[illegible]　紐育土地建物株式會社靜岡出張所（電話一一八番）
[illegible]　紐育土地建物株式會社[illegible]出張所（電話二二一番）

露國政變

▲我が政府と正式承認

露國新政府承認問題に關し我が政府に於ては英佛政府に對し問合せ中なるが米伊兩國は正式に承認ぜんとの公報其筋に達したれば我が政府も遠からず正式承認を爲すに至るべしと(東京特電)

▲三國大使の招待會

露都來電=英佛伊三國大使は二十二日外務省に對し新政府承認の趣を通告し目下寒冒にて引籠り中なる英國大使ブカナン氏の本復を俟ちて正式の招待會を開催する樣申込みたり右招待會には露國官員全部出席すべし(倫敦電報)

○獨逸麵麭割當減量

愈四月十五日より實施公達

アムステルダム來電=最近普魯西議會に於て小麥の貯藏高は一般の想像する所よりも少額なりとの陳述を發表せられしが愈々四月十五日より麵麭の割當量を四分の一丈け減給する旨公達ありたり(倫敦電報)

○黎總統に御親電捧呈

林公使の病氣猶癒へざる爲め芳澤參事官公使を代理し二十四日午後黎總統に謁し支那の勳章贈呈に對する　陛下の御親電を捧呈せり(北京特電)

○秋山大將著壤

秋山軍司令官は二十五日午後四時來壤停車場には立花師團長工藤平南道長官始め其他重なる官民有志及び在郷軍人等多數出迎へたり二十六日午後七時より當地官民有志は大同館に於て兩將軍歡迎會を開く筈なり(平壤特電)

○小原長官動靜

小原農商工部長官二十四日午後二時長春著名古屋館に投宿せり二十六日は吉林に赴き二十七日は哈爾賓を視察せり(長春特電)

○長春滯貨多量

東滿鐵道連絡貨物十六日迄の停滯數量は滿鐵百二十車長春驛打切り及び到著して倉庫に保管中の物の內東滿線行の貨物三千百五十噸の多量なり(長春特電)

○平田書記官夫妻

總領事として二箇年間莫斯科にありたる平田書記官夫妻は二十五日神戶に到著せり(大阪特電)

○總督全州到著

南鮮視察中の長谷川總督は二十五日午後三時自動車を驅り官民多數の出迎を受け來全直ちに道廳、物品陳列場、郡廳、警務部等を視察して平野家旅館に入り一泊の上二十六日守備隊小學校を視察晝過ぎ當地出發の豫定なり(全州特電)

○日滿聯絡貨物　發送停止

▲普通便　客月末に於ける內地及び朝鮮滿洲發東淸鐵道線行聯帶貨物の寬城子停車場に停滯せる物は僅々二十二車に過ぎざりしに本月に入り貨車配給意の如くならざりし爲め滯貨次第に增加し東淸線は一時貨車を增配し輸送に努めたるも容易に一掃を見る能はず然るに本月七日に至り突如從來配給の二十五露貨車を十五露貨車に減じたる其の結果として本月十六日寬城子停滯せるもの南滿貨車にて百二十車の停滯を見るに至れり加ふるに長春打切りとして到著したる貨物にして東淸線聯帶輸送と看做さるるもの約三千百五十噸の多數に上り配給十五露貨車を以ては如何ともする能はず之に於いて東淸鐵道は根本策を定むるの必要を認め貨車增配、聯絡貨車取扱停止の二途孰れかを取ることとし種々考慮を費せしも目下の情況上貨車增配は絕對に之を望むを得ず止むなく聯絡普通便扱貨物の引繼を全く停止することに決せり尚寬城子驛構內に持込みたる東淸鐵道地方的取扱貨物約參百露貨車以上停滯しあり

▲急行便　本貨物は往々長春驛に少數の停滯を見ることあるも目下停滯のものなく輸送良好に且つ迅速に輸送されつゝあり今後當分の間は此の方法に依る外途附の途なきに至れり

●陸接國境貿易

大正五年陸接國境貿易額は輸出一百○一萬餘圓輸入七十二萬餘圓合計一百七十四萬圓にして差引二十九萬圓の出超を示せり而して之を大正四年の貿易額に比較すれば出入とも著しき發展にして卽ち輸出は二十八萬圓(二割八分)輸入は二十一萬圓(三割九分)の增加なりとす次に重要品に就き觀察するに輸出に在ては大宗たる生牛は四十五萬圓に上り其他石油七萬餘圓大豆五萬六千餘圓米四萬五千餘圓酒精三萬五千餘圓魚類三萬餘圓人蔘及び牛皮各一萬八千餘圓等にして之を前年に比すれば大豆及び人蔘に僅少の減退を見たる外生牛は九萬三千餘圓酒精は三萬餘圓紙卷煙草は二萬三千餘圓石油は二萬餘圓米は一萬餘圓魚類は四千餘圓牛皮は三千餘圓を孰れも增進せり次に輸入重要品の貿易額は粟十七萬四千餘圓木材及び板八萬四千餘圓人蔘五萬三千餘圓生馬三萬六千餘圓小豆三萬五千餘圓地金銀二萬九千餘圓支那燒酎二萬六千餘圓大豆油一萬八千餘圓等にして前年に比し

▲支那燒酎　に六千餘圓の減退を示せる外各品孰れも增進を告げ其增額は小豆の三萬餘圓粟人蔘は各二萬九千餘圓生馬は二萬八千餘圓地金銀は一萬二千餘圓大豆油は五千餘圓とす叙上の如く本年の陸接國境貿易は出入とも頗る好況なりしも之が原因は主として農作の良好輸出貿易の好況銀價の騰貴天寶山、銅鑛經營等に因り間島地方購買力の增進せしこと及び北鮮與地に於ける鐵道工事、甲山銅鑛の經營其他經濟の膨脹に基き諸物價の需用增加したること其他時局の影響一般物價騰貴の結果輸出入品價格の膨大を來したること等に在るものにして從て本年の國境貿易に於ては豆滿江及び鴨綠江兩地方に區別して觀察する時は鴨綠江側に比し豆滿江側に於ける增進特に顯著なるものありとす

●朝鮮新事業の興隆

昨夏以降計畫中並に許可されし
會社六十一件資本金三千萬圓

朝鮮に於ける產業交通等の施設は比年發達し加之昨年來貿易狀況の順調を致せるあり勞々財界は一段の進展を告げ來れるより玆に若干新事業に投資すべき餘力を生じたるに加へ近時內地に於ける戰亂の影響による資金の充溢は延いて事業家の海外企業を誘發せしむる等彼此因をなし較近朝鮮內各地に於て事業の新に計企せらるゝもの漸く多く昨年七月以降計畫中のもの申請中のもの並に既に許可せられしものの合計六十一件の多數に上り其の資本金合計は二千九百餘萬圓に達せり今之れが道別を示せば左の如し

道別	許可	申請中	計劃中	計
京畿	三	九	一	一三
忠南	二	一	二	五
全北	一	二	一	四
全南	一	…	二	三
慶北	二	二	…	四
慶南	二	九	四	一五
平南	七	一	五	一三
咸南	一	二	…	三
咸北	一	…	一	一
計	一九	二六	一六	六一

忠淸北道、黃海道、平安北道、江原道の四道は未詳なるも大體に於て其の企業は多からずと觀測されつゝあり

▲資本金の出所　而して資本別の合計二千九百卄一萬八千圓を許可申請計畫別に分てば許可分は一千百八十六萬五千圓に上り而して申請は七百四十五萬五千圓を算し計畫中に屬するもの九百八十九萬五千圓なり又其の資本の出所を內鮮別とする時は左の如し

▲許可されし會社資本

內地出資	六、九七四、〇〇〇圓
朝鮮出資	四、三九一、〇〇〇
不詳	五〇〇、〇〇〇

▲申請中の會社資本

內地出資	三、二四五、〇〇〇圓
朝鮮出資	二、八一三、〇〇〇
不詳	一、四〇〇、〇〇〇

▲計畫中の會社資本

內地出資	七、三六四、〇〇〇
朝鮮出資	一、八一一、〇〇〇
不詳	二、六二〇、〇〇〇

▲新事業業別　更に又各新事業を各業別に擧示すれば工業最も振ひ事業計畫二十五件資本總額一千七百萬圓に達し居れり乃ち左表の如し

▲許可會社の業別

業別	件數	資本金
農業	一	五〇、〇〇〇圓
鑛業	…	…
工業	六	七、四〇〇、〇〇〇
電氣	三	一、五〇〇、〇〇〇
商業	六	九〇〇、〇〇〇
銀行	一	三〇〇、〇〇〇
運輸	一	三、〇〇〇、〇〇〇
雜	一	三〇、〇〇〇
合計	一九	一二、八六五、〇〇〇

▲許可申請中の會社業別

業別	件數	資本金
農業	二	一三五、〇〇〇
鑛業	…	…
工業	一〇	二、九四六、〇〇〇
電氣	一	一、〇〇〇、〇〇〇
商業	九	二、八〇〇、〇〇〇
銀行	二	五五〇、〇〇〇
運輸	一	五〇、〇〇〇
雜	一	二〇、〇〇〇
合計	二六	七、四五八、〇〇〇

▲計畫中の會社業別

業別	件數	資本金
農業	二	三〇〇、〇〇〇
鑛業	一	二、〇〇〇、〇〇〇
工業	九	六、八五〇、〇〇〇
電氣	一	六〇〇、〇〇〇
商業	二	三〇〇、〇〇〇
銀行	一	五〇〇、〇〇〇
運輸	…	…
雜	…	…
合計	一六	九、八五〇、〇〇〇

▲許可申請計劃中の會社業別

業別	件數	資本金
農業	三	四五〇、〇〇〇
鑛業	三	三、一三五、〇〇〇
工業	二五	一七、一九四、〇〇〇
電氣	五	一、一三五、〇〇〇
商業	一七	三、九五〇、〇〇〇
銀行	四	一、一五〇、〇〇〇
運輸	二	三、〇五〇、〇〇〇
雜	二	四〇、〇〇〇
合計	六一	二九、二一八、〇〇〇

●日滿貨物運輸成績

大正六年二月中に於ける日滿聯絡貨物の輸送は前月に引續き東淸線輸送力不足の爲め內地及び朝鮮より發送を制限するの已むを得ざるの狀態にあり今左に輸送數量及び重なる品名を列擧すれば左の如し

▲輸送數量 (單位噸)

△內地發哈爾賓著	八六七
△朝鮮發哈爾賓著	七九二
△東淸發內地著	六四一
△東淸發朝鮮著	一〇六
合計	二四〇八

▲重なる品名 (鐵道院發東淸著)

品名	本月分	前年同月との比較增減(△印減少)
綿布	三七七	二六〇
綿絲	六一	四四
燐寸	五八	五八
紙	五四	一
メリヤス製品	五二	△二五
生果	五〇	五〇
革及革製品	二六	二六
砂糖	二五	二五
鐵製品	二四	二四
藥品	一七	一五
朝鮮發東淸著		
米	七八九	四三七
東淸發鐵道院著		
大豆	六四一	六四一
麥粉	一〇六	一〇六

本表の示す如く貨物品種の增せしは露國大祭の前景氣と商品の仕入時期に相當せし所以なる可し砂糖の前例なき輸送を見たるは露國政府が砂糖に對し本年二月十四日より九月十四日迄無稅輸入を許可したる結果にして之等は一旦哈爾賓へ輸送され更に露國內地に轉送されつゝあるなり又東淸發日本側著大豆豆粕及び麥粉等の運送數量漸次增加し來りたるは露貨下落の結果原價低廉となり商取引容易に行はるゝに因る可きも一は日露貿易發展の結果たるは疑ふ可からざる所なりとす

●監査官の減員

臨時土地調查局增徵職員定員中改正の件は二十四日附訓令を以て發布せられ四月五日より施行の事となれり今回の改正は監査官二十七人を二十三人となすものにて結局四名の減員なり

●海藻同業組合　釜山海藻業

者は廿二日釜山南濱町朝鮮水產組合樓上に集會を催し海藻の保護並びに販賣上の利益を圖る目的を以て同業組合を組織すべく創立委員會を開催し協議の結果定款及び組合費賦課徵集方法を議決し役員選擧を行ひたる結果組合長に大原庄太郞、副組長中村俊松、理事高山石太郞、周晶會、監事岩崎新平、秋乃有、評議員淺海彥太郞、山本利吉、金面玉等當選したりと(釜山)

支那遍歷(第五信)

中島生

燕京日記(續き)

八、政治劇の一幕

此夜端なく、小生等は支那に於ける最近の政治劇、其の一齣を見物する機會を得たり、月明、城壁上に立つ、其下は恰かも京奉鐵路前門停車場也、此時嚠喨たる喇叭の響きに俯瞰すれば、多數の兵士列を成して驛站に向ひ進むを見る。啻に軍隊のみならず、自動車、馬車、人車轍を接して行く、壁を下り、試みに巡警に問へば、馮副總統と段總理と相携へて今夜天津より歸京するなりと云ふ、驛前は兵士の警戒物々しく、苟くも民衆の濫りに入るを許さず。但だ外國人たる小生等は誰何もされず構內に入るを得たり。副總統と總理とが、倶に天津より歸る其事、別に他奇なし。時局に關聯して段氏憤然京を去り、馮氏之を追ふて迎へ歸る事が支那政界の一波瀾として重要視せられたるが故に、兩者歸來の光景は、極めて興味ある政治劇の一齣として見物の價値ありしなり。

三月五日の北京官場は一般にざはつき居たるが、それも其筈段祺瑞氏天津行の爲め陰雲濛々として政界を蔽ひたりし也。之より先、四日は日曜なるにも拘らず、午前より段總理は國務員を率ゐて總統府に赴き、居仁堂に於て黎總統に謁見し、對獨態度につき決定したる方針を陳じて總統の批准を求めたるに、黎元洪氏の意見は未だ段總理と全然一致する能はず、種々押問答もあり、意見も交換されたるが、容易に互讓の餘地を發見する能はず、黎氏卓を叩いて聲を勵ませば、段氏亦怫然として之に應じ、遂に國家の重大問題も未決の儘にて、段氏は無言の裡に堂を去り、其邸に歸れり。氏は歸邸匆々辭表を提出し、寸時の猶豫なく、電話を以て京奉線前門驛長に命じて、特別列車を仕立てしめ、飄然として天津に去れり。總理の離京は、事餘りに意外にして、北京政界に大動搖を與へたり。閣員も吃驚し、議員も吃驚し、黎總統も亦吃驚せり。二三の閣員は辭表を提出せり。民國實に內外多事、之れに加ふるに黎氏も大に手古摺りたる由にて結局馮副總統をして天津に行いて段氏を慰留せしむる事となり、扨こそ馮氏の天津急行とはなりしなれ。馮氏到りて段氏と會し國事を說いて復歸を乞ふこと切々、辭淚併せ下れりと云ふ。流石の段氏も外ならぬ馮氏の出馬に遂に釋然として復京を肯じ、即ち相携へて六日夜北京に歸れる也。北京を去るや、政界は山雨到らんとして風樓に滿つるの概あり。雨乎、風乎、いづれは一暴れあるべしと想はれたるが、半天は雷雨半天は晴、由來支那の事端睨捕捉す可らず、案外にも唯だの一日にして斷の鞘に納まり、人をして手に握りたる汗の遣り場に困らせはしたれども先づは、目出度し々々々と申すべき也。然かも知らず段氏出奔の一幕、僥に茶番狂言に畢らざりしや否やを。實は馮段兩氏歸京の光景を見んと欲し、小生等も一時間から待たねばならずと聞き、踵を回して市中行人の群に投じ所々見物致候。

●滿鐵の新事業

[illegible]し特に收入豫啚の如きは昨年に比し九百萬圓增大する有樣なり好景氣[illegible]山收入並に工場收入等孰れも激增せる[illegible]事情を見るべし次に新事業及び[illegible]を示せば[illegible]の如く二千三百萬圓に達すべし

▲注目すべき點　右新事業中[illegible]にあるを思ふ時滿鐵の製鐵大工業の工事を第一とし[illegible]擴張、[illegible]上に近附かんとするの觀あり而して事業費の[illegible]一千餘萬圓は[illegible]

[illegible]釜山草梁に逃走し來り居たるを去る月廿四日釜山署刑事の爲めに[illegible]格闘の[illegible]會議に附せらるる事となりたるを以て近日同地へ押送せらるる筈なりと(釜山)

■南言北語■

世間で何と云はうが人が何と罵ろうがヘーンと鼻であしらつて思ひ切つた暴動をやつた獨艦メーウェは惡運强くも二十七隻の外國船を擊沈して獨逸に歸つた▲伯林公報が得意らしく兇暴の狀を堂々と天下に發表して居る處は聯合國に當てこすつて居る積りかも知れぬ▲殊に米國に對して尖つた下顎を突き出して片つ方の指で赤んべーをして妙な聲でメーウウエーと惡たれ口を吐いて居る樣にも見れる▲米國も最う愈々開戰するらしいが今の處先づ刀の注文と云ふ處▲立派に出來上つたらサー來いと身構へるのだろうが早くせぬと折角の獨逸がお先に沒落するかも知れぬ▲獨逸の沒落は可いがドシ〱やらるゝ米國汽船は溜るまい▲ヘルドロンと云ふのが又たやられた名からしてヘルドロンだから縁起が惡い▲此の向では汽船が續々海底へドロンをきめてヘル一方ぢや幾何米國でも遣り切れまいテ▲獨逸潜航艇には實際手が付けられぬらしいが米國では最一とつ上手な事を考へたど▲イヤ考へた許りぢやない市俄古の科學者ウッドと云ふ人は既にピックバークの大學校で多くの學者の前で實驗して特許權を米國政府に賣り付けたと云ふ▲其の發見と云ふのが又た頗る以て振つて居て魚形水雷に腦髓と耳とをこしらへる▲而して一時間に四十哩の速力で走り一哩半の距離迄敵艦に近寄ると其位置を正確に聞き▲直に鐵を捨て驀然敵に打つ突かると云ふのだ▲此奴には誰でも驚くだらうがまるで警察犬見た樣なものだ▲が性の惡い奴は途中で休み〱行くなんて事があるかも知れぬ▲何れ實戰に使はれたら其處にも此處にも小癪を傾けた魚形水雷がニョコ〱やつて居る事だろう▲亞米利加の新聞は眞目面で之が說明をして曰く▲耳は人間の其れに模したもの▲腦髓は全く發明者の獨創で從來のデテクトフオーンの發達した秘中の秘だとサ▲兎に角獨逸潜航艇も之れは一本參るのだろう

人事消息

▲野口新一氏(土木局元山出張所長)　二十五日夜入京旅館へ
▲神林啓太郞氏(咸興炭坑社長)▲大戶正義氏(同社員)　同上
▲太田猪十二氏(橫濱輪田商)　同上
▲大澤藤三郞氏(群山商業會議所會頭)　二十四日夜退京
▲佐々木慶南第一部長　二十五日夜退京
▲中村彌七郞氏(國語業)　同上
▲尾州尙爾氏(久原技師)　同上

京日案內

普通一回前金五十錢　番外一回前金(活字一回增し)
▲申込後中止の節は前金返送せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は必ず番號御記入を乞ふ

普通

●今回歸國に付高尙料理店讓度四十三年以來千客萬來市內目拔の所得意有數多望の方は電話二四四番へ 725
●金融　官公吏敎師へ極秘手輕信用貸御報伺又は御來談　京城本町五丁目電車停留所前　大和屋質店 688
櫻苗、桐苗、梧桐苗、果樹苗木各種蔬菜及山林用種子花卉種苗類格安　京畿道安城市場　朝鮮勸業商會 737
身體强健勞働に堪へ意志强固にして路頭に迷ふ者は申込めよ　京畿道安城市場　朝鮮勸業商會 736
●店員採用　藥業に經驗あるもの　京城南大門內正面　救世藥舘 738
●店員二名至急入用希望者は本人來談あれ市內に保證人要　龍山漢江通郵便局前　須見自轉車店 735
●四十歲以上にて料理店に經驗ある帳場大至急雇入たし但妻帶者の事　京城新町君之江　電話一三六一番 734
●店員入用十四歲より十八歲迄の者五名但保證人を要す　京城吉野町　岩城商店 741
●融通　月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談　京城大和町二の三二(西澤前)毛木屋 739
●嚙まれぬ前の杖咬まれぬ前の犬に注射が安全賢い愛犬家は速に施しあれ　本町二ノ四　京城狂犬病豫防注射所 742
●事務員入用二十五歲迄能筆者　南大門通南大門前　森代書事務所 741
●店員入用卄八歲迄市內に確實なる保證人を要す　京城花園町　豐商會石油工場 743
●通勤女事務員七名入用但算筆達者の二三十歲位女自筆履歷書携帶來談あれ　本町一　津村兄弟商會
女子有給外務員募集　京城府太平通二丁目　電話二三二一　勸業貯蓄合資會社朝鮮支部 722

番外

サツキモンド　ウスキー號　京城南大門通一丁目　電話二八九三番　振替京城三四〇六番　清水自轉車店 650
●金融　商人官吏へ秘密嚴守　立替御報伺又御來談へ信用便宜　黃金町一丁目一九三番　衣町花岡小路毛利質店奧　江崎 721
恩給年金　退隱料扶助料即時立替　證書確實保管　京城吉野町一ノ六九　電車停留場約二丁半上(元仲之新地入口前)　俵屋 740
看護婦入用　志望者は直接來談の事　龍山元町一丁目　イツキ病院 740
店員入用　廿五歲迄商業學校卒業又は中學校程度の者自筆履歷書携帶本人來談あれ　京城吉野町　貿易商　中嶋竹次郞 728
醫師一名招聘　但開業免狀を有する內地人　▲詳細の事は直接面談の上　京城旭町一丁目　電話六九一番　小林醫院 733
陸軍　襦袢　袴下　靴下　手套　其他各品多數有之御用命願上候　京城府淺江通　電話長三三六　佐藤古着店 697

石炭　明治町一　村山商行　電話一〇五一

毛質を絕對に變化せず益々美艶豐麗な毛らしむ

レーポマード

此の新煉香油生れて男子にはコスメチック、女子には鬢附が全く不要!!
それ程附け工合といひ、艶といひ、匂といひ一點の非のない最新式の煉香油です
東京　平尾贊平

…る滿鐵の事業豫算は概略決定して鐵道院に還附せられたり收支共に膨脹にして鐵道運輸收入、船舶收入、…度に三…地方より見る時は今更ら…

大連築港及埠頭費	一、八〇〇、〇〇〇
撫山炭坑工場費	一、三五〇、〇〇〇
地方經營費	二、二〇〇、〇〇〇
其他	〇〇〇、〇〇〇
合計	二三、〇〇〇、〇〇〇

…四艦隊新設の爲に其全艦額を提供せざるべからざるが如き哀れなる狀態…的の新事業の一たるを失はず鐵道事…し以來頗る復…業中にありては豪家屯季天間の複線…服を來したる今日は著しく景氣の頂…支那青島附近の村落に於て…發生したる櫻井町一丁目外十四箇町の…地方法院檢事局に於て取調中…の内廿戶に對して廿五日より廿八日迄消毒的特別掃除を勵行しつゝあり…龍山…同地軍法…の照會に因り…

◉根柢から獨逸の制縛を逃れる爲に
露國民の腹の底からの願ひ

露都に於ける今回の動亂は之れを善意に正面より觀察すれば露國の爲めに寧ろ慶賀しなければなるまいと思はれる露國は前世紀後半に於て實に獨逸の援助に由つて其の文化を進め

◇國富を增進 して歐洲の北方の雄を稱するに至つたのであるされば此の間に於て露國の朝野を擧げて親獨の氣風を養成し既に皇帝の父皇帝の時代にはフォン姓を有する獨逸人は皆露國の男爵を授けると云ふ獨人優遇さへ發せられた位である先帝アレキサンドル第三世陛下時代には一層親獨主義を執られた爲め露國の貴族は爭つて獨逸の

◇貴族と婚姻 を結びて朝廷に其の勢力を張らん事を企てた爲め忽ちにして露國は上貴族より下は農商工業に至るまで獨逸の勢力が浸潤して或る意味に於て露國と獨逸とは異體同心で其の獨立は表面のみと成つた斯くの如く深く喰ひ入つた獨逸の勢力を俄かに拔き去らうと云ふ事は到底言ふ可くして行ふ可からざる事である開戰以來露國民は

◇初めて獨逸 の恐るべき事を曉り獨逸人が露國の獨立を危からしめる事を絶叫したがモウ此の時は遲い皇帝と皇后陛下との間の會話は凡て獨逸語で遊ばされる迄に獨逸化して居るから幾度内閣が更立しても其の内閣から全然

◇親獨的分子 を除き去る事は勿論不可能の事である斯くの如き不徹底の政府を戴いて戰つて居る國民の不幸は想像に餘りある處である今回の動亂が議會を中心として政府の親獨分子を除去するが爲めに起つたは露國の爲めに甚だ悅ぶべき出來事と云ふべきである

◇幾多の血を 流し幾多の建築物は破壞せられ内閣諸大臣は拘禁せられ遂に皇帝の退位に迄で及ぶは容易ならざる大動亂ではあるが斯くの如き底の革命亂を見ざれば到底露國上下に深く喰入つて居る獨逸の勢力を驅逐する事は能きぬ（露國通某氏談）

◉墜落原因
惜むべき青年將校
‖飛行機墜落の詳報‖

千葉縣下志津より所澤に歸航の途中百五十米突の高空より墜落慘死を遂げたる杉野中尉の墜落原因は判明せざれどもプロペラーと翼とを折りたるものならんとの事なり同中尉は元千葉縣鐵道聯隊にありて青島戰にも從軍し一昨年所澤航空隊附となり德川大尉中田中尉の下にありて練習を爲し來月卒業の筈なるが享年二十八歲性質溫厚なる有爲の將校にして陸軍大學入學準備中なりし由墜落の場所は東京府北豐島郡尾久村な役場より一町半の田圃にして中尉は背部より胸部迄手把に突き拔かれて卽死を遂げ齒は全部破壞したり死體は同所諸苗代發電所内に安置し在鄕軍人に依り保護せられあり（東京特電）

◉暴行中尉
停職を命ぜらる

既報酒亂の爲め衛兵十餘名を指揮刀にて斬りたる第四師團深山重砲兵第三聯隊附砲兵中尉坪倉駿夫（三十）は軍人の體面を汚せる廉を以て停職を命せられたり（大阪特電）

◉決議を主務所に打電
本派本願寺紛擾

本派本願寺の紛擾は終に集會にて左の決議を爲し主務所に打電し猶陳情書を送れり（大阪特電）

寺法を蹂躙して執行の任免を行ひ豫算決算の議了を俟たず會議中不法にも違法なる處置なる閉會式を擧ぐる等無法なる處置敢ふるに暇あらず至急相當の處分を請ふ

◉臨濟宗雲水の托鉢修行

臨濟宗妙心寺では修禪道場建立資金の一端に供する目的を以て目下掛錫中の雲水諸氏相謀りて托鉢修行を爲すこととなり二十四日其第一回を行つた、此の臨濟宗に屬する雲水の托鉢修行は京都其他禪刹所在地では常に行はれて居るのであるが京城では此が抑の嚆矢であるらしい

托鉢姿

◻托鉢の方法 は黑の木綿の法衣を腰上げしてアジロ笠を被り肩から『妙心僧堂』と染拔いた黑の袋を垂げた數名の雲水が約二間宛位の間隔を取つて靜に『ホーホー』と唱へながら

◻町から町と 流して普通行はれて居る托鉢僧の如く軒に立つて經を誦んで物乞ひをする樣なことは一切せない此修行僧に淨財を喜捨せんとする篤志の人は之を呼び留めて金なり穀物なりを

◻喜捨すれば 雲水は難有く申受けて行くのである一寸御紹介して置きたいのは修禪道場であるが是れは今の布教監督後藤瑞巖老師が近來歐米思想の流入と共に我國民の思想界は

◻混沌として 歸趨する所を知らず日に浮薄に流れて之れが『大和魂』の所有者であるかと疑はれるのと二千萬の朝鮮新同胞をして大日本帝國の臣民として自覺ある人間たらしむるには古來英傑豪傑と稱せられた人は有らく此の禪の修行に依りて神身の鍛錬を經たるに發しても此の朝鮮に禪道佛法を振起されねばならぬのみならず朝鮮僧侶をして

◻眞に見識を 具有せしむるには修禪道場の必要があると云ふので御大典記念事業として之が志願を立てたのであるが事業は遠からず修禪道場の建立を見るに至るであらう

◉四人放免から典獄以下進退伺
刑期を誤算す

岐阜監獄の囚人橋本文次郎は二月二十二日滿期放免者なるに刑期を誤算し居りたる事三月八日發見し卽日放免したるは松能典獄以下看守長等四名の失態なりとて松室法相に進退伺ひを差出せり（大阪特電）

◉住職を慘殺す

全羅北道錦山郡南二面石洞里寶石寺僧侶姜漢坡（三七）は曾て平安南道大同郡龍山面金村里龍岳山法雲庵に居住中大正元年十月二十日之れも同地に住居する僧侶池明善外五名と共謀し同郡林原面所法寺住職朴龍洙を殺し池明善を住職となさんと巧に朴住職を誘出し成川郡香楓寺に同伴し夜に入りて姜漢坡が朴の背後より首を縊め他の四名は杵及び棍棒にて滅多打に毆り付け卽死せしめ死體は其夜の内に同寺より約半里餘りを距りたる山中に埋沒して現場を逃走し姜は爾來年根と變名して諸所を徘徊したる後全羅北道に入り前記の箇所に居住中を平壤署の知る處となり三月七日逮捕され目下同署に於て取調中なり

◉宮崎縣の火災

二十五日宮崎縣宮崎町字河原町福本彌作方より出火し卅餘戶を燒失せり（大阪特電）

◉耳朶を咬切つて罰金三十圓

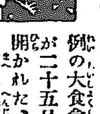
京城大和町三丁目煙草商浦川梅太郎の妻やそが二月十四日集金より歸宅の途中黃金町二丁目にて迷兒を發見し兩親の氏名等を問ひしも不明なるより保護者を探しつゝ惑りながら本町三丁目を通行中突然迷兒の母親なる永樂町一丁目瀧川みさが追ひ來り幼兒の

▲頭部を亂打 したるよりやそは其不法を詰り迷兒の引渡しを拒み兩女の口論中偶々群衆を押分けて出で來りし永樂町一丁目居住兵庫縣印南郡大鹽村生れの錻力職矢内豐吉（三九）はやそに對し實母に引渡すを拒むは不埒なりと罵りやその顏を毆り飛ばしたるよりやそは歸宅の上其の事情を梅太郎に告げ同夜十時過ぎ梅太郎夫妻は豐吉方に赴き彙の

▲不法を詰問 し巡査派出所に同行せんとしたるより玆に豐吉梅太郎の二夫婦男女四名が入り亂れて大格鬪をなし豐吉が梅太郎の左耳朶を咬み切りたる傷害は此程京城地方法院にて豐吉は罰金卅圓に處分さる

◉逃亡犯人捕縛

慶尙南道蔚山郡機張郡方面の沖合に過日來不正漁業者の出漁甚しきより東萊警察署は同地方駐在所に命じ檢擧に努めしめたる結果去る十八日迄に十八名の違犯者を逮捕したるが内三名を漁船監視の爲め松汀里に繫留せる漁船に留置きたるに逃走し釜山牧の島に潜伏せるを東萊警察署より追跡し來りたる三浦巡查は釜山警察署の應援を得て二十日何れも捕縛せりと（釜山）



例の大食會の第三回が二十五日千代本に開かれた、會の始まる前に返事の葉書の披露があつて會に雪が降りかゝつてその下に桝を配らうと臺灣金魚を描いてその橫に出席は一目瞭然として光菊の名詮自稱、商賣柄電氣の下に桝を描いた島田さんの出ますなんど喝采を博す▲幹事とあつておその挨拶、丸子の斡旋共に宜しくあり吉例の布袋會長のフレーの發唱も濟めばお定まりの鼻の下の運動會、一流選手は男女會長に政菊、千代香など例によつて動かぬ所は牛肉のあとに汁粉といふ猛烈なのにも滅多に凹まぬ勇氣凛々▲會費一圓五十錢也出金の段になり布袋會長が元氣よく出した五圓紙幣をフレーの逆襲で失敗したのも奇拔だつたが袋底を叩いて漸く一圓三十二錢五厘より無く千代香が喰ふ方ばかりでない太ツ腹を見せて二十錢を奮發したのに息を吐いた會員があつたのも愛嬌▲それから博士に南大門の缺席は物足りなかつたが本町一丁目邊りから金令監が馳せ參じて食べる方では麒麟も老いては駑馬に及ばず、香に聞く姫御前連の健啖振りを後學のために拜見に參つたと演說した

◉南北滿洲視察團に對する日支官民諸賢の協贊（四）
先發準備委員　上田白川

‖大連官民歡迎‖

四月十九日午後五時を以て沙河口滿鐵工場の見學を終り直ちに伏見臺にて歸途同五時三十分大和ホテル著樓上休憩中最高樓より大連市街及び港灣の大體を展望しつゝ大連に關する各方面の大體的說話を聽き。午後六時三十分より同所に於て大連日支官民有志即ち滿鐵、民政署、市役所、商業會議所、新聞社、諸會社銀行團の主催發起の大規模なる歡迎會に列し我視察團員は一堂の下に大連官民の代表者と會合十分の交歡を爲す事を得るは何よりである。加ふるに當日の會合には支那側の商務會員の多數も列席の由にて確に此機會に日支の交驩も遂げ得らる可く主催兩社は勿論團員一同の頗る欣幸とする所である。

‖視察の第二日‖

大連視察の第二日即ち四月二十日は午前八時迄に團員一同日本橋停留場に集合直ちに電車にて大連埠頭の見學に赴く。抑々大連埠頭は東清鐵道會社が無慮一千萬留を投じて築造したもので規模の宏大なる事東洋各港中稀に見る所である。其第二埠頭は露治時代に於て完成し海中に突出する事一千九百六十尺、幅三百五十八尺、其左右の水深は約二十尺乃至三十尺にして優に一萬噸以上の大船巨舶を橫付けにする事が出來る。夫れから第二埠頭の東に當り此と並行するものを第一埠頭とす第一埠頭は元露國の築造したる半成工事を增築したもので其長さは第二埠頭と同じく一千九百六十尺其岸壁北部を繫船用とし東部岸壁に沿うて約十萬坪の埋立を爲し埠頭設備並に石炭貯藏其他の使命に充てゝ居る。

‖輸出入の貨物‖

更に第一、第二兩埠頭の中間に介在するものを中央埠頭と稱し其長さ一千二百二十五尺あるも猶ほ入港船舶は年々急速に增加しつゝあるが故に新たに第三埠頭を築造する事となり第二埠頭の西方に九百尺を距て殆ど之れと平行し長さ二千尺幅四百尺の築造工事に著手し大正八年度を以て完成の豫定だそうな。何しろ背後に曠大なる南北滿洲を負ふたる大連港の奧地の諸產物を輸出し又奧地の需要する諸雜貨を輸入する事とて同港の輸出入貨物は年々莫大なる數量であつて試みに大正元年以來の數量及び著離の船舶隻數の統計を示すと

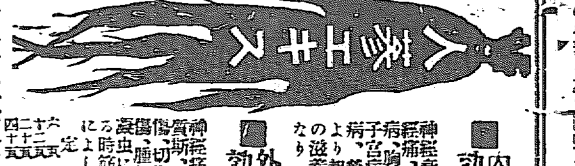
年次	著離船舶	輸出貨物	輸入貨物
大正元年	三、九五六隻	一、五四九、五一九噸	四四八、三六八噸
同二年	四、二〇三	一、八〇九、五五七	五二一、三三九
同三年	四、二五九	二、一六六、八六六	四八一、一五四
同四年	四、〇一九	一、七七一、四〇八	五五三、九六六

而うして大連港の貿易は輸入品に於ては綿糸布を第一とし麥粉、金屬及び金物、米類等之に次ぎ輸出品は豆粕、大豆、豆油等なるが例年之等特產物の輸出價額は全輸出價格の約七割を占めて居る。

‖滿鐵主催歡迎‖

大連の大規模なる埠頭築港の情況より數十隻の大船巨舶の繫留せられて山積せる貨物の積卸されつゝある壯大なる情景に對しての觀察は團員諸君をして得る所蓋し多大なるものあるべしと思はる。猶ほ滿鐵の好意にて時間の許す限りは團員の爲め特に汽艇を派して港外を一巡し海上より大觀を爲さしむ可しとの事である。斯くて團體は埠頭の視察を終れば同所附近の油房と取引所とを視察し正午迄に某所（場所未定）に引上げ南滿洲鐵道株式會社主催の歡迎午餐會に列席する事となつて居るが滿鐵は單に一席の歡迎會に止まらず今回の視察團に對し獨り大連計りでなく南北滿洲全視察地に亙り視察上確に十二分の便宜を與へらるゝ事となつたのは一百餘名の團員諸君と共に主催兩社の衷心より感謝の意を表する次第である。斯くて視察團は正午過ぎより午後二時頃迄に亙る滿鐵主催の歡迎會に列席の後は思ひ〳〵の自由行動に移り玆に南滿の首都大連市の視察を終了するのである。

朝鮮總督府許可



■内用精 効能 神經衰弱、病後衰弱、肺病、老衰、痔疾、子宮病、胃腸病、營養不良等より起る諸病の滋養強壯劑なり
■外用精 効能 神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打撲、腫物、肩の凝、蟲に螫れた時、筋の張り等によし
定價 六十五錢 三十五錢 二十五錢 一圓二十五錢 四十五錢

人參直取引大販賣所
人參 滋養藥 エキス 菓飴 製造本舖
朝鮮名產一切 京城本町一丁目
津村兄弟商會 電話三五二番 振替京城四八〇番
京城本町一丁目 津村兄弟商會人參部 電話一八七〇番
支店 龍山元町二丁目 龍山支店
京釜線大邱驛前 大邱支店
朝鮮釜山大倉町 電話三九四番 釜山支店
其他全道の藥舖に無之御地方は直接本舖に御注文に依る事が最も安全且つ御便利に候 本店支店共市内は御一報次第配達 御送金は振替に…

寫眞 出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可成親切を旨とし御需に可應候 京城日報社 寫眞製版部

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四〇番
内科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

かぜ ねつ カギヤピリン 最良藥の
◉面白い程よくきく良藥なり
かぜ藥は必ず本劑を服し定て常に家庭に備へ少しでもかぜの氣味あらば彼是と手遲れせぬ樣直ぐ服用せよ
◉面白い程効あり ◉小兒には專用の小兒カギヤピリンあり ◉アンチピリン、アスピリン等類似の他品あり
御注意 藥價 五錢 十錢 廿錢 卅錢 一圓
本舖 名古屋京町二 荒川長太郞

醇良無比灘清酒

無害衛生 品質無双
釀造元 福岡縣城島町 首藤合名會社
發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 電話長一一七一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 電話長三四三番

鑛山用測量器械 京城 [illegible] 本店

診察時間 自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院 電話八二二番

講談落語 娛樂世界 四月號
△常川半三筑波櫻…燕州 △落語花見酒…金馬 △霧太郎と鼠小僧…圓玉 △土手の道哲…貞丈 △落語粗忽の釘…燕枝 △仁王太郎大坂落城…如燕 △落語三軒長屋…馬生 △柳生寶藏吉野出會…右圓
△仙石騷動…典山 △見返り柳…燕枝 △德島十八斬…英昌 △落語兇ふ女…小圓朝 △寫眞小說一本櫻…阿彌笠 △情我物語…鬼太郎 △石除の秘密…綺堂 △櫻ローマンス…福來
州崎大火の因縁 活動内所話 鐵道奇譚解謎 聞の夜の白及 構濟食行脚 春色二た昔 南洋土產雜俎氣質 西洋活動寫眞譚
‖奇拔なる大懸賞募集 十三間勤業債券。上等萬年筆 銘仙反物十人‖
定價廿五錢 郵稅二錢 東京日本橋 娛樂世界社 振替東京三三八四四

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一〇番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

中學世界 四月號＝興趣縱橫獨特の好讀物を選載す 東京本町博文館發行 定價二十三錢郵稅二錢
■新學生訓 專門の選擇…三宅博士
△博士か乞食か（長篇）…野尻抱影
△撰窗日記卒業飛行迄…
■楠木正成…黑板博士
△オリンピック大競技…
△學資は自己に在り…淨田博士
■羅甸區の思出…島崎藤村
中學生活特別記事 ▲シーツの應援旗（一高） ▲豫科の悲哀（東京商大） ▲サケとホイラ（東京高工） ▲舍監の手帳（中學） …でまず物語
受驗者特別記事 ▲誤り易き國文法 ▲參考書の扱ひ方 ▲普通文研究 ▲一谷の奇襲（盛衰記と外史對照）

龍山元町一丁目中央 イツキ内科病院 電話二五八番 入院隨意 醫學博士 齋勇

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

百十七 闇の川風『廿二』の二

『は、はア、乃公ぢやとて、お前が桑原夫人のお袖さんなら、人なき所で、迂濶に盃など獻しは爲んぢやよ。町の綾香が只丸髷に結うて化けて來たと思やこそ、つい氣樂になつて打融けて見るまでの話ぢや。』

男爵は、手から銚子を把つて、お袖の盃に酌を爲てやられた。

『嬉しう御座いますわね。妾も幾年振かでこんなに旨いお酒が頂かれますのよ。』

『それでも桑原君が知つたらば、餘り好い心持は爲んぢやらうの。』

『何うしまして御前、必ずその御贔屓には及びませんで御座いますよ。それでも御前のお心で、幾分でも桑原の方へ工合がわるいと思召しましたら、かねて桑原から御願ひしてあるとか申す、あの鑛山の拂下の事でもお力を添へてやつて下さりさへすれば、それでもう大ほく／＼なんで御座います。』

『ふゝむ、彼の事かの。彼の事なら乃公も疾から思つとらんではなかつたが、桑原君と云ひ手代の松崎までが、妙に乃公を敬遠し出したやうな感じが爲とつたもんぢやからの。』

『いゝえ／＼、御前を敬遠する所の段では御座いません。絹代さんの一件があつたもんで御座いますから、御前がお腹を立つてお在遊ばすに違ひないと申して、それのみを頭痛に病んで居りました容子で御座いますの。』

『は、はア、豈夫にそんな氣の小さい乃公でもないんぢやが……お前から然う云ふ注意があるなら何更ぢや。明日にでも早速その方の運動に着手して遣はすと爲やう。』

強いやうでも脆いものは男である、それに彼の絹代づれの未通女とは譯が違つて、男爵の氣質から萬事の呼吸を飽香に爲て居るお袖の綾香が、幾好くば男爵家令夫人とも成るべき野心を抱いての操縦方であるから、黒い髭一ツの動かし工合にまで毛頭の抜目がない男爵は、忽ちにして悉皆お袖の掌に乘せ込まれて了つたのである。

『本統に然うお願ひする事が出來れば、妾も手は切つたとは申すものゝ、桑原に後足で砂を掛けるやうな不人情を唄はれずに濟むと申すもんで御座いますから、こんな双方の爲に都合の宜い事はないんで御座います。』

『もう分つたぢや。何事も心配するには及ばん、桑原君の利益にもなり乃公が爲めにも自然金儲けの緒に有付ける話なんぢやからの。はッ、はッ、はゝ。』

酒も進み、興も進んだ。男爵は殆んど時の移るのも忘れて居らるゝ有樣であつたが、不圖或る人と會合の約束があつた事を思ひ浮べて、

『おッ、然うぢやつた。お袖さん、折角ぢやがの、今夜乃公は九時半まで屋敷へ來て待つとる人があるんぢやから、お前はまあ緩りしてから歸るが宜い。』

『御前、妾に歸れと被仰いますのは何方へで御座います？豈夫桑原の宅へ歸れと仰せ遊ばすんでは御座いますまいね。』

お袖は、不意を喰つて狼狽たばかりでなく、男爵の歸れと言つた語が何となく一種の情なさを胸先に感じたのである。

『成程然うぢや。こりや乃公がわるかつたの。つい、桑原夫人と云ふ習慣的の感じが失せずに居つたもんぢやからの。では、お前も自動車に同乘して一緒に屋敷まで歸ると爲やうかの。』

女中を呼んで、そろ／＼自動車の仕度を命じさせやうと思つて居ると、直眼の下に見え透いて居る離亭の一室で、遽かに喧嘩でも賣りかけるやうな醉客の喚き聲が起つた。

男爵は何氣なく首を差延べて、欄杆越しにその方を瞰下したのである。お袖も氣味わるさうに座を起つて、熟と同じやうに瞳を凝らした。植込みの小枝に妨げられて無論座敷の中までは判然と見通せないのであつたが、客は何でも二人連れであるらしい。藝妓と覺しいはしやいだ女の聲も混つて聞ねた。

『何ぢや、二階に華族樣が來て御座る。華族樣と一口に言つてる、一から六まであるんぢや。原町の男爵さへば、彼の北原の阿呆殿樣に違ひなからう。』と、亂暴極つた調子で、その一人の怒鳴立てるのが手に取るやうであつた。

●運轉の對抗策 獨潜艇戰策と米國

沈せられたることと外電所報の如くなるが今や之に對して米國政府及び[illegible]なるを[illegible]

抑も獨逸の第五期潛水艇戰（二月一日の新宣言）は其目的とする所英國[illegible]に船舶の國籍を顧みるの遑なく悉こ[illegible]とする場合に於て云々する者の感な[illegible]くの如くなれば米國は獨逸との國交斷絕と同時に獨逸の潛水艇に對して[illegible]に止まるも戰爭狀態存在するを認むべし』云々の言は夙に二月の上旬に[illegible]なりとするも實際の効果は疑はし又米國は果して斯かる危險なる實際策を實現すべきや否や恐らく[illegible]に利用せんとするものとは見るべからず却て對獨海戰策を利用して大海軍充實の促進に資せんとするものな[illegible]

ロル氏の義勇兵

米國商船は頻々として撃沈されるが、ウヰルソン氏は平氣なもの、鯉が留つたほどにも思つて居ない、追つ拂ふが大儀なのか、それとも無益の殺生であるといふ博愛心からか、いづれにしても其寛大には驚くの外はないが國内では今にも戰爭が始まるやうに思ふて婦人連まで愛國同盟を造り英國婦人を模範にして大に働くと云つて騷ぎ出しルーズヴエルト氏も二十萬の義勇兵を募り佛白方面で玖馬で試みた手腕を揮ふと云つて居るそれに就て伯林では散々にルー氏を冷笑し揶揄して居る『ルー氏は阿弗利加へ猛獸狩に行くのと同じ調子に思つて居るが二十萬の遠征隊が出來たらお慰み、だが何しろ恐いことになつたもので獨逸全戰線の兵士が戰慄して居るのは無理もないさ』と米國はよく／＼獨逸に見縊られて居ると見ゆる

名刺

京城 太平堂 電話二七一二番 振京三六七番

無病長壽を希ふ人ありや 然して津村兄弟商會の人蔘エキスを知らざる人ありや 人蔘エキスに親しまる方は一生健全也

京城本町一 電話一四八〇 津村兄弟商會

●コツパ會三月例會

（三月十八日靜軒居に於て）

土筆こぼる袴のひだの折れ返り 田柿
原稿多かりしゆるみ土筆出づ 同
枯枝落つ春の鎔造の水まさりゆく 同
春の水筏の灯つゞくなり 魚骨
避病院に鎖されて土筆とりに行く 案山子
澤尻の水土筆とりけり 湖村
宵月の暗を入出つ春の水白し 同
灯點きて帆に風はある春の水 同
石佛土筆くゝりて紙捻あり 浩一郎
春の水人なき家に溯る 袋人
柳並木を沿ふて唸く春の水 同
春の水端村の堤や捨家 雄川
山の家に春の水汲む女かな 湖東 靜軒

●早大の新築工事 早稲田大學に於ては豫て計畫中なりし大典記念事業の第一期工事として煉瓦建三階建の圖書館建築の左翼に約二百坪の增築を施し近く其基礎工事に着手することに決定したるが尚續いて理工科の應用化學科の講堂及實驗室に充つべき煉瓦二階建三百十餘坪の建物を新築し何れも本春出來の豫定なるが該工事竣成の曉には構內建物に一層の美觀を添ふるなるべしと云ふ

●明治高等豫備校學生募集 明治大學に附屬せる同校は各種高等學校入學志望者のため準備教育を施せるが教授其人を得たると授業方法宜しきを得たるため各種高等學校入學試驗に際し毎年多數の合格者を出す由にて本年も四月六日より授業を開始し各學年に涉りて豫備の全科を修了せしむる筈にて目下學生募集中なり

●明治大學豫科 例年の通り來る四月八日新學期開始に付目下學生募集中なるが同大學豫科は法科、商科、政治經濟科の各大學入學豫備門にして中學卒業生及同資格者は無試驗入學を許し卒業の上は志望の學科へ入學せしむ從て各科大學豫科課程を履修せしむる規定の由なるが毎年新學期に際し入學志望者頗る多數なりと云ふ

新刊紹介

▲大正六年最近朝鮮事情要覽 本書は朝鮮總督府政治の沿革より風俗習慣、地誌、交通、通信、地方行政、財政經濟、農、工、商、林、鑛、水産、拓殖の各事業、貿易、土地調査、宗教、社寺、古蹟遺物、教育、衛生、警察、裁判監獄に至る迄之を二十二章に類別し以て最近朝鮮に於ける施設經營の一斑及內地人發展の狀況其他朝鮮の事情を記述し統計表を附し包括的觀察の便に供せるもの（價イ詳朝鮮總督府）

▲大藏經要義（第一卷）『大藏正本多日生師選述』大藏經中の重要なる經典約一千餘卷に就て其の大體の組織と綱要とを辨し且經中の要文を摘出して之を翻譯し其要文には簡明平易なる講述を加へ以て與隆佛法の一助たらしめん』との趣旨を以て編纂に著手したるものにして本卷には僅に寶積經、心地觀經、大樹緊那羅王經、仁王護國經、勝鬘師子吼經、大法鼓經の七部三十一卷を收めたり。從來の機微を形とせる西歐文明東漸の大潮流に對抗して東洋文明の特長を闡明すると共に日本主義の神髓を宣傳し以て精神的に國運隆盛に寄與せんとする努力を多とせずんば非ず（二圓八十錢東京市[illegible]）

▲秀鱗觀 [illegible]氏の締結及氏の性格に就て池端道彦、鈴木敬村、石野藤諸氏の觀察を集めたり（非賣品東京市四谷區本村町二九[illegible]）

▲ペン商業書式習字帖『青成泉外觀』 [illegible]二十題を示せり選擇自在にして[illegible]（三十錢東京市日本橋區[illegible]大阪屋）

▲駿友（三月號）（五錢京城本町二ノ五〇淨土宗青年會本部）
▲竹友（三月號）（四錢五厘京城市觀町區四ノ九共社）
▲婦人週報（三ノ一一）（四錢五厘東京市牛込區市谷町二ノ一七共社）
▲現代之科學（三月號）（二十八錢東京府下澁谷二一五共社）
▲大阪小間物新報（四八〇）（五錢大阪市東區北久寶寺町二ノ四四共社）
▲第三帝國（二月號）（二十錢東京市牛込區揚場町三共社）
▲少女新聞（一六）（二錢東京市京橋區松町一東京社）
▲幼年パナシ（四月號）（八錢東京市牛込區甲良町二三東京出版社）

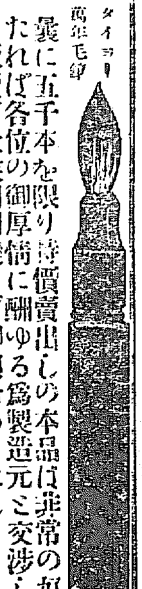
最新刊

書名	著者	定價
參考 最近世界地理 上下	井原儀	各一、〇〇
易の原理攷古鑒	藤野	二、五〇
字山の謎	栗原古城譯	一、七〇
文敎論集	市村瓚次郎	一、二〇
富世百道樂	堀内新泉	一、二〇
りんごの病氣	三浦道哉	一、〇〇
南滿洲鐵道案內	滿鐵編	六〇
漢文解釋法	塚本哲三	七五
商業府御秘藏書	木內秀哉評	八五
鈴鹿納債權者の活顧問	藤井將堂	三〇
選擧必携	帝國地方行政會編	七五
生物學上より見たる死の現象	竹中繁次郎	一、二〇
通俗科學家庭の一日	坂部熊吉	七〇
世界を家として	大庭柯公	一、三〇
女の道	跡見花蹊	八五
大江戸の思出	鹿島松之助	一、三〇
彼女の生活	田村俊子	九〇
誰にでもわかる文章の作り方	金子薫園	三五
我不練習用諸體假名帖	島村不老	四〇
ペン數字練習帖	大阪屋號編	一〇

大阪屋號書店 京城本町一丁目 [illegible] 電話一二五七三番

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替二〇〇番 京城日報社代理部

タイヨー萬年毛筆



曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元こ交涉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし 京城日報社代理部

自然の黒髪のやうにキット染る!!

ナイスの五大特長 タッタ二十分で染る。永く保ち褪せず剝げず。枕に汚點つかず。却て毛の艶を增す。用方至極手軽なり。

大瓶價七十錢 小瓶價四十錢 男子用價三十錢より

シラガ赤毛染 ナイス

發賣 大阪東京 丹平商會

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行
○和歌浦丸 三月 日後五時出帆
○立神丸 四月 四日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
○和歌浦丸 四月 日後五時出帆
○立神丸 三月 三日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○第三琴平丸 三月 日後四時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三琴平丸 三月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天興丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 四月二日後四時出帆
○秀吉丸 四月六日後四時出帆
○君か代丸 四月四日後四時出帆
○神代丸 三月廿九日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行（關東都督府命令航路）
伏見丸 三月廿八日午後入港 三月三十日正午出帆
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番） 野口商會
仁川代理店 田口回漕部
元山代理店 南大門（電話二六八）
京城取次店 河村運送店

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽（天津）牛莊行
和摸丸 四月廿一日正午出帆
三河丸 四月十日正午出帆
砂丸 三月卅一日正午出帆
仁川港岸町十一丁目 電話 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

群山、木浦、釜山、關門、神阪行
○天智丸 四月四日
×汕頭丸 三月卅一日後五時出帆
×山陽丸 三月廿六日
◎木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
○信濃川 三月廿九日後二時出帆
群山、木浦、神戸、大阪行
○天智丸 三月 日後五時出帆
×濟州丸 三月 日
木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
○安東丸 三月廿七日後二時出帆
×安東丸 四月十四日
群山、釜山、横濱行
○福州丸 四月十五日後二時出帆
×潮州丸 四月二日
鎭南浦、大連行
○安東丸 四月九日後二時出帆
×安東丸 四月廿七日
大連直航
○福州丸 四月九日正午出帆
△潮州丸 三月廿七日
淸津、浦潮行（元山出帆）、城津、西湖津二寄港浦潮不寄港
○印平丸 四月四日後十二時出帆
▲安島丸 四月十一日
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
▲宮香丸 四月十五日前六時出帆
○基隆丸 三月三十日後四時出帆

御注意 各航路は五分引なり ◎印は仁川鐵道及び南滿洲鐵道會社と聯絡切符發賣仕候 △印は貨物船客取扱ひ ×印は一時間前迄乘船のこと

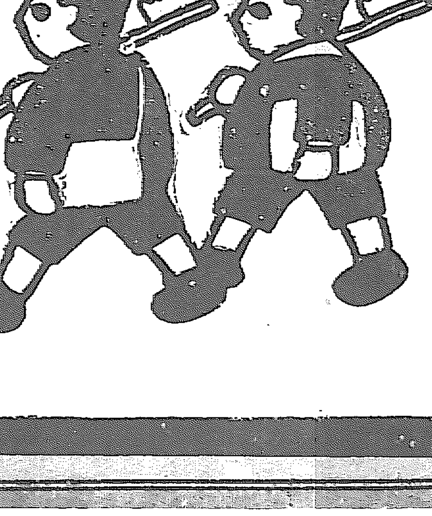
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話五五八番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番

朝鮮郵船出帆

本社 京城南大門驛前 電話長一九五三番 外船取扱店 松原運送店
○江原丸 四月二日
○京畿丸 三月廿六日
○黃海丸 三月三十日
○成鏡丸 四月十日 門司より釜山各港寄港基隆間航路 釜山發
○穩城丸 三月
○昌平丸 三月廿九日
○鏡城丸 三月廿七日 元山より各港經由雄基行 元山發
○昌平丸 三月廿八日 咸鏡寄港長崎行 元山發
○盛德丸 三月廿七日 甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 釜山發
○江陵丸 毎日 釜山發
○襄陽丸 長生浦方魚津寄港 浦項發
○三浦丸 三月 日 長承浦、鹿水、巨文島、濟州島各寄港 釜山發
○海州丸
○統營丸 各港經由麗水 三日目一回木浦行
○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發
○平壤丸 三月 日
○忠淸丸 四月六日 城津淸津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行 元山發
○順天丸 三日目每ニ 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續 木浦發
○慶興丸 三月廿八日 各港經由濟州島行西廻 木浦發
○慶興丸 三月 日 南多島海列島行月三回 木浦發
○公州丸 三月 日 各港經由濟州島行東廻 木浦發
○江原丸 三月 日 芝罘、大連、靑島行 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 三月三十日 各港經由木浦行 仁川發
○宗信丸 三月廿六日 海州他各港經由鎭南浦行 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 江華島、椒島、海州行 仁川發

ライオン齒磨

齲齒ほど
▽子供の神經を害ひ、
▽子供の發達を妨げ、
▽子供の頭腦を悪くし
▽子供の性質を偏屈にする
ものはありません。
それ故に親御達は子供の幼時から早く注意して、
ライオン齒磨（特に子供の使ふ爲に子供齒磨があります）を
朝起きた時こ、食後こ、夜寝る時こに是非お使はせになるのが最も肝腎です。



ライオン齒磨 ライオン石鹸 本舗 東京本所區 小林富次郎 支店 大阪・名古屋

(6-759)